

## 食品安全モニター課題報告

## 「食品の安全性に関する用語集等について」(平成 19 年 2 月実施)の結果

## 1. 調査目的

食品安全委員会では、リスク評価の内容などに関する意見交換会等の際に消費者をはじめとする関係者の理解を助けるための基礎的な参考資料として、基本的な用語等を解説した「食品の安全性に関する用語集」を発行している。本用語集を更に充実させる上での参考とするため、食品安全モニターに対し、用語集の利用状況、用語の充実度など、本用語集に対する評価について調査した。

また、「いわゆる健康食品」の浸透度合いなどを把握するため、摂取状況、摂取する理由や摂取しない理由、情報の入手先などの調査を併せて行った。

調査項目は、次の 2 項目である。

1. 「食品の安全性に関する用語集」について  
(用語集の利用状況、用語の充実度、用語の追加、用語解説への理解など)
2. いわゆる健康食品の摂取状況について  
(摂取状況、摂取理由、摂取しない理由、摂取しているいわゆる健康食品、情報の入手先など)

## 2. 実施期間

平成 19 年 2 月 21 日～3 月 6 日

## 3. 対象

食品安全モニター	470 名
有効回答数	404 名 (有効回答率 : 86.0%)

1) 食品安全モニターの回答者数の内訳

男女別：

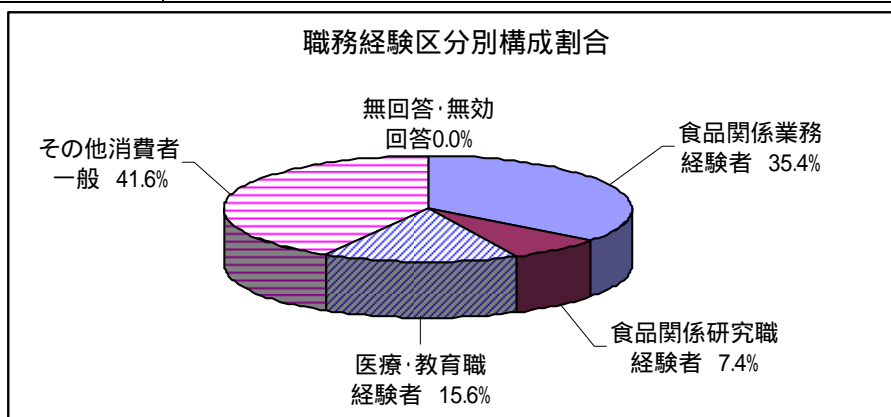
	回答者数	割合
全体	404 人	100.0%
男性	136 人	33.7%
女性	268 人	66.3%

年齢別：

	回答者数	割合
全体	404 人	100.0%
20～29 歳	30 人	7.4%
30～39 歳	90 人	22.3%
40～49 歳	101 人	25.0%
50～59 歳	80 人	19.8%
60～69 歳	79 人	19.6%
70 歳以上	24 人	5.9%

職務経験区分別：

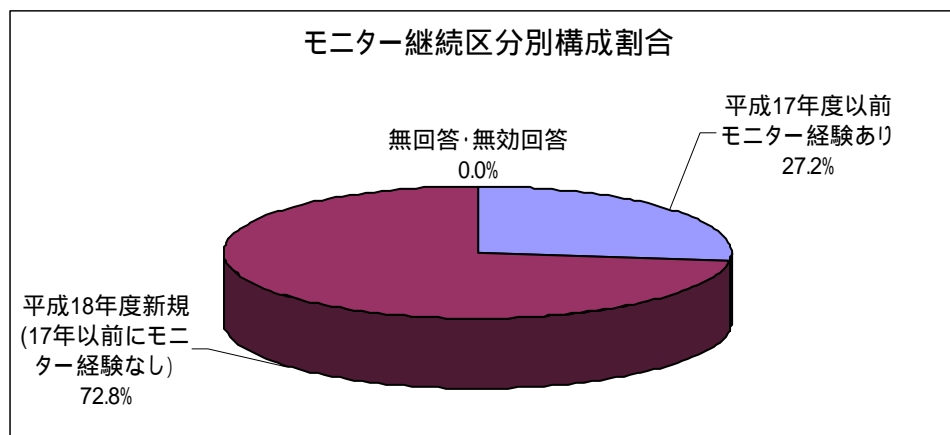
食品関係業務経験者	・現在もしくは過去において、食品の生産、加工、流通、販売等に関する職業(飲食物調理従事者、会社・団体等役員などを含む)に就いた経験を5年以上有している方 ・過去に食品の安全に関する行政に従事した経験を5年以上有している方	143 人
食品関係研究職経験者	・現在もしくは過去において、試験研究機関(民間の試験研究機関を含む)、大学等で食品の研究に関する専門的な職業に就いた経験を5年以上有している方	30 人
医療・教育職経験者	・現在もしくは過去において、医療・教育に関する職業(医師、獣医師、薬剤師、看護師、小中高校教師等)に就いた経験を5年以上有している方	68 人
その他消費者一般	・上記の項目に該当しない方	168 人



	男女別		年代区分別			全体
	男性	女性	20～39歳	40～59歳	60歳以上	
食品関係業務経験者	77人	66人	36人	65人	42人	143人
	53.8%	46.2%	25.2%	45.5%	29.4%	100.0%
食品関係研究職経験者	15人	15人	10人	11人	9人	30人
	50.0%	50.0%	33.3%	36.7%	30.0%	100.0%
医療・教育職経験者	19人	44人	18人	21人	24人	63人
	30.2%	69.8%	28.6%	33.3%	38.1%	100.0%
その他消費者一般	25人	143人	56人	84人	28人	168人
	14.9%	85.1%	33.3%	50.0%	16.7%	100.0%

モニター継続区分別：

- 過去においても食品安全モニターに依頼されていた方  
（以下、「継続モニター」という） 110人
- 平成18年度から、食品安全モニターに依頼された方  
（以下、「新規モニター」という） 294人



#### 4. 調査結果

##### 1) 「食品の安全性に関する用語集」について

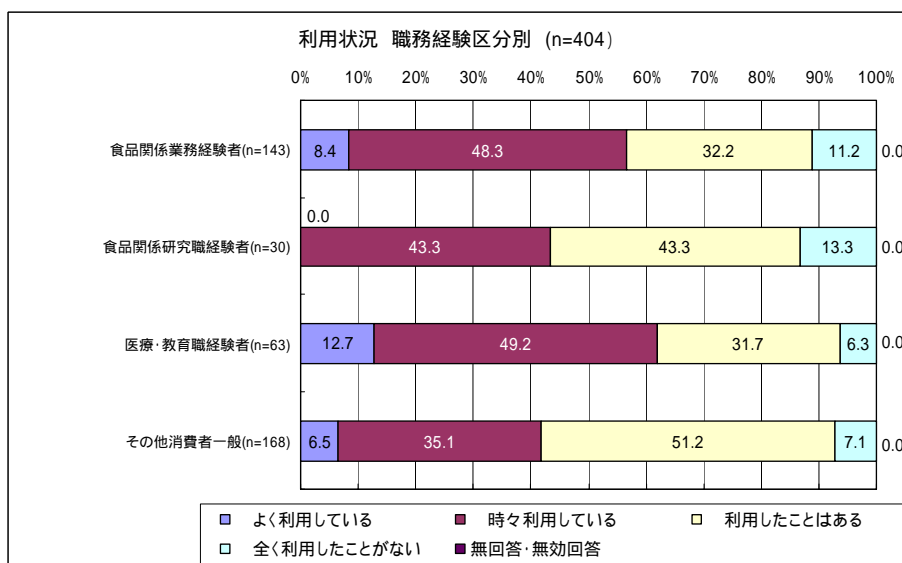
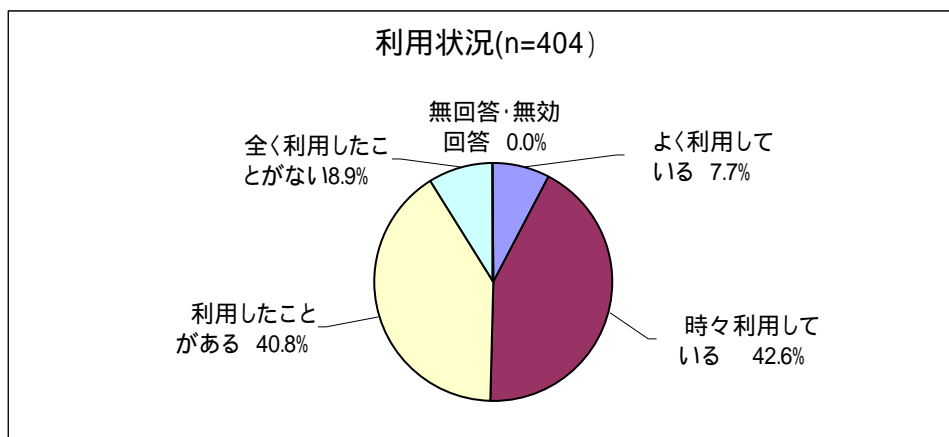
###### 用語集の利用状況について

問1 用語集について、実際に利用したことがありますか。次の中から一つ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

##### ◆ 「食品の安全性に関する用語集」の利用状況は、約9割

用語集の利用状況について、「よく利用している」(7.7%)、「時々利用している」(42.6%)、さらに「利用したことがある」(40.8%)の回答を合わせると、9割以上の人が用語集を利用したことがあるとしている。一方、「全く利用したことがない」とする人の割合は、8.9%であった。

職務経験区別に比較的使用頻度の高い割合(「よく利用している」、「時々利用している」とする人を合わせた割合)をみると、医療・教育職経験者(61.9%)、食品関係業務経験者(56.7%)、食品関係研究職経験者(43.3%)、その他一般消費者(41.6%)の順に高い。



## 用語の充実度について

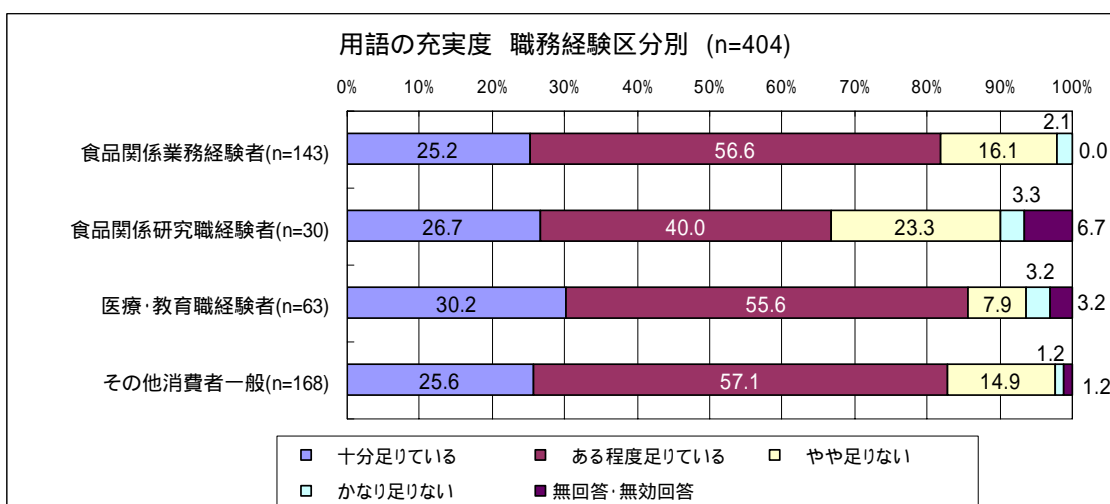
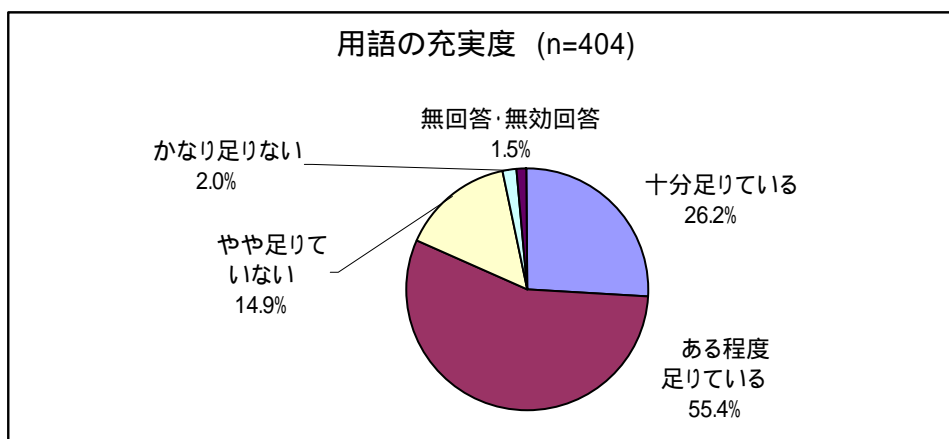
問 2 用語集に知りたい用語がどの程度掲載されていますか。次の中から一つ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

- ◆ 用語の充実度は「十分足りている」と「ある程度足りている」の回答割合の合計は約 8 割

用語集に知りたい用語がどの程度掲載されているかという問いに対して、「十分足りている」(26.2%)、「ある程度足りている」(55.4%)の回答を合わせると、約 8 割の人が用語の充実度について評価している。

「十分足りている」とする回答割合を職務経験別にみると、医療・教育職経験者では 30.2% (他の職務経験区分では 25.2% ~ 26.7%) であった。

一方、「かなり足りない」、「やや足りない」とする人の割合は全体では 16.9% であったが、職務経験区分別にみると、食品関係研究職経験者の回答割合が 26.6%(他の職務経験区分では 11.1% ~ 18.2%) であった。



用語の追加について

問3 現在、事務局で用語の追加を検討しています。回答欄に記載されている用語のうち、特に必要性が高いと思われるものから、五つ以内で選び、その番号をつけてください。また、これら以外に掲載が望ましいと思われる用語がございましたら、「その他」の欄に記入してください。

◆ 追加の要望が多かった用語は、トランス脂肪酸、イソフラボン、食品リサイクル法、コエンザイムQ10、クローンであり、それぞれ全体の2割以上が要望

71用語を例示し、その中から特に掲載の必要性が高いと思われるもの(選択肢から五つ以内で選択)について質問したところ、「トランス脂肪酸」は36.6%の人が選択し、最も多かった。続いて「イソフラボン」(29.0%)、「食品リサイクル法」(25.0%)、「コエンザイムQ10」(24.8%)、「クローン」(23.8%)と続いた。

順位	用語	件数	%(n=404)	順位	用語	件数	%(n=404)
1	トランス脂肪酸	148	36.6%	21	食品衛生指導員	30	7.4%
2	イソフラボン	117	29.0%	22	消費生活アドバイザー	29	7.2%
3	食品リサイクル法	101	25.0%	23	コホート	27	6.7%
4	コエンザイムQ10	100	24.8%	23	衛生標準作業手順(S S O P)	27	6.7%
5	クローン	96	23.8%	23	食生活推進員	27	6.7%
6	無登録農薬	80	19.8%	26	消費生活センター	25	6.2%
6	疾病リスク低減表示特定保健用食品	80	19.8%	27	反復投与毒性試験	23	5.7%
8	貝毒	58	14.4%	28	パブリックコメント	21	5.2%
9	抗原性	57	14.1%	29	ヘルシンキ宣言	19	4.7%
10	最小毒性量(LOAEL)	52	12.9%	29	登録保留基準	19	4.7%
11	微生物学的リスク評価	49	12.1%	29	マーケットバスケット方式	19	4.7%
12	モニタリング検査	46	11.4%	29	保健所	19	4.7%
13	生殖毒性	45	11.1%	33	登録検査機関	16	4.0%
14	食品安全総合情報システム	44	10.9%	33	植物防疫所	16	4.0%
15	アフラトキシン	42	10.4%	33	消費生活専門相談員	16	4.0%
16	食品表示ウォッチャー	36	8.9%	36	サザンプロット試験	15	3.7%
17	食肉衛生検査所	34	8.4%	36	セルフクロニング	15	3.7%
18	ドリフト	32	7.9%	36	SPS(衛生と植物防疫措置に関する)協定	15	3.7%
18	リスクコミュニケーター	32	7.9%	39	AUC	14	3.5%
20	塩素・臭素化ビフェニール(PXB)	31	7.7%	39	OIEステータス評価	14	3.5%
				39	独立行政法人国民生活センター	14	3.5%

順位	用語	件数	%(n=404)	順位	用語	件数	%(n=404)
42	食品保健総合情報処理システム	13	3.2%	56	Cmax	7	1.7%
42	ナチュラルオカレンス	13	3.2%	56	T1/2	7	1.7%
44	命令検査	12	3.0%	56	試験動物	7	1.7%
44	インタープリター	12	3.0%	59	Tmax	6	1.5%
44	ファシリテーター	12	3.0%	59	E F S A 「科学委員会」	6	1.5%
47	運命試験	11	2.7%	59	アドバイザー	6	1.5%
47	オープンリーディングフレーム	11	2.7%	59	コーディネーター	6	1.5%
49	小核試験	10	2.5%	59	パネルディスカッション	6	1.5%
49	食品衛生推進員	10	2.5%	64	外挿(外挿法)	5	1.2%
49	専門調理師	10	2.5%	65	ベクター	4	1.0%
52	単回投与毒性試験	9	2.2%	65	インストラクター	4	1.0%
52	ディフューズアウトブレイク	9	2.2%	65	フォーカスグループインタビュー	4	1.0%
52	メディアカバー調査	9	2.2%	65	メディアトレーニング	4	1.0%
55	消費生活コンサルタント	8	2.0%	69	シンポジウム	3	0.7%
				69	パネリスト	3	0.7%
				71	科学コミュニケーター	2	0.5%

上記の 71 用語以外で、掲載が望ましいと思われるもの(自由記述、複数回答)については、ISO22000 が最も多く 7 件であった。(別添参照)

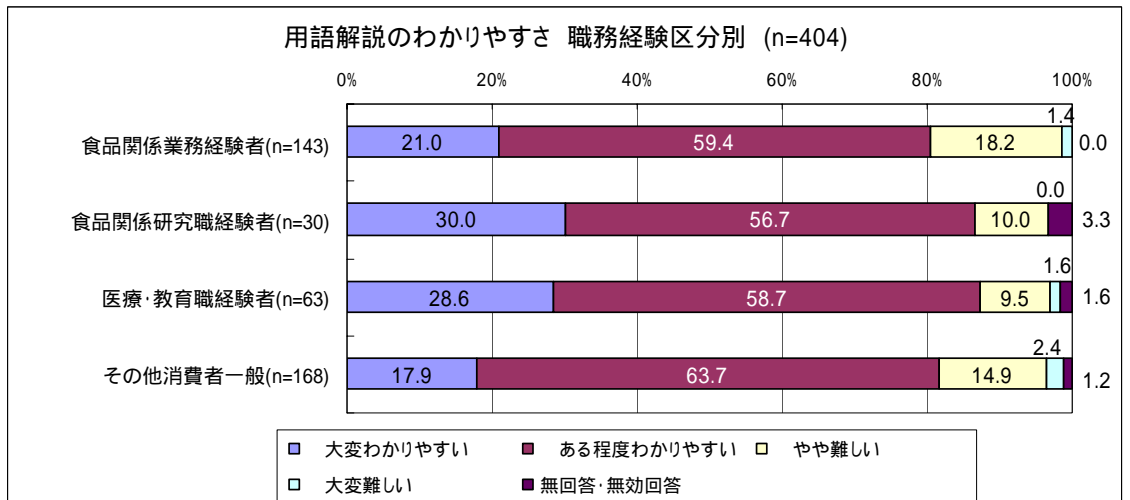
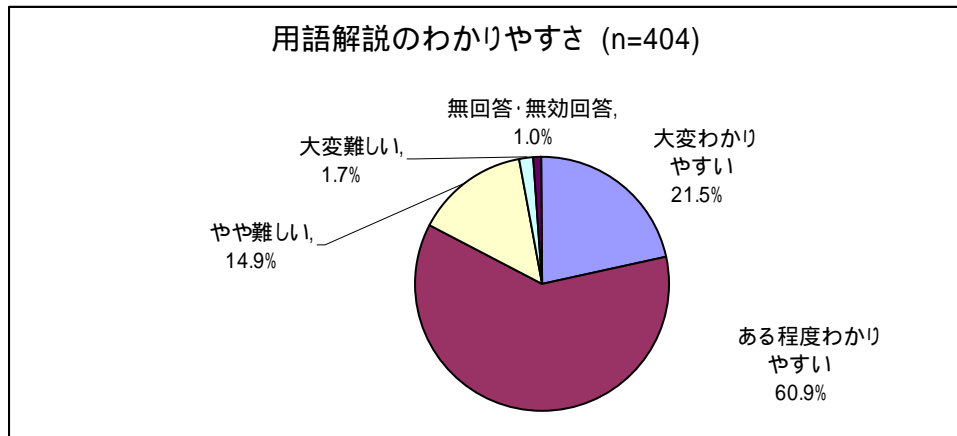
用語解説のわかりやすさについて

問4 知りたい用語の解説は、総じてどの程度わかりやすいですか。次の中から二つ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

◆ 「わかりやすい」という評価は、8割以上

現在用語集に掲載されている用語の解説について、総じてどの程度わかりやすいかという問に対して、「大変わかりやすい」との回答割合は21.5%、「ある程度わかりやすい」との回答割合が60.9%で、合計で8割を上回った。

職務経験区別では、「大変わかりやすい」と「ある程度わかりやすい」の合計の回答割合は、全ての区分で8割を上回った。





解説が難しかった（理解しにくかった）用語

問5 知りたい用語のうち、解説が難しかった（理解しにくかった）ものがありましたら、具体的にその用語をあげ（三つ以内）、その理由を記入してください。

解説が難しかった（理解しにくかった）用語を三つ以上あげ、その理由（自由記述）を聞いたところ、個別の用語として、99 用語について指摘があった。

具体的には、

- ・ 用語の解説に用いられている言葉自体が分からないといったもの（「ベンチマークドーズ」の『暴露量』、『カットオフ値』、『毒性』の『LD<sub>50</sub>』、『ゼロリスク』の『ハザード』など）
- ・ 具体例をあげて分かりやすい解説を望むもの（「ベンチマークドーズ」、『ポジティブリスト』、『新開発食品』、『地理的 BSE リスク』など）
- ・ 担当省庁名の記載を望むもの（「特定保健用食品」の『国の許可』など）

などの指摘があった。

用語の解説で難しかったもの（6 件以上の用語）

用語 ( )内はパーセント数	件数	用語 ( )内はパーセント数	件数	用語 ( )内はパーセント数	件数
ベンチマークドーズ (7)	35	HACCP(50)	7	イ・ビ・ト (15)	6
暴露評価(5)	10	アジュバント(24)	7	イ・ビ・ホ (15)	6
ポジティブリスト制度(19)	9	ノロウイルス(36)	7	内分泌かく乱物質(26)	6
消費期限と賞味期限(55)	8	交絡(7)	6		

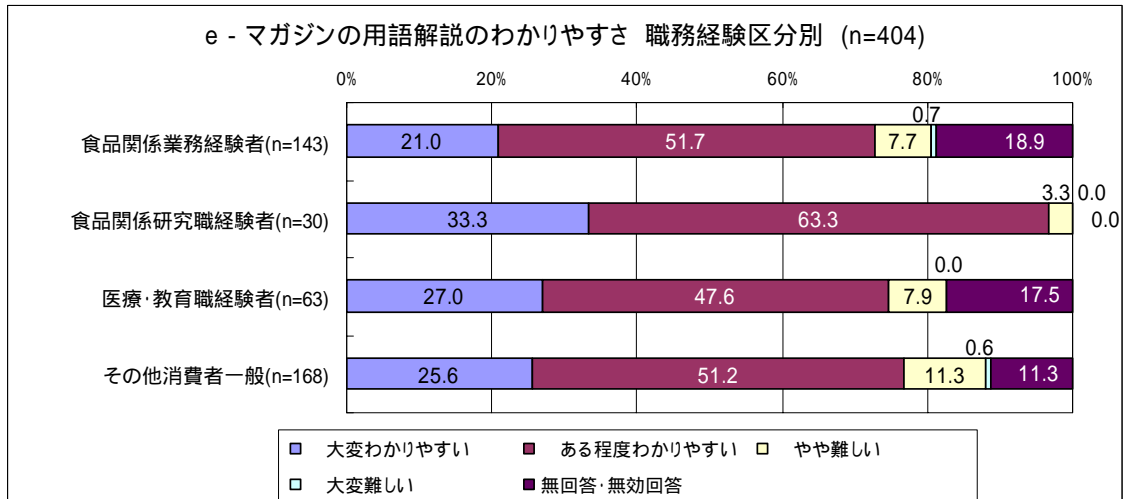
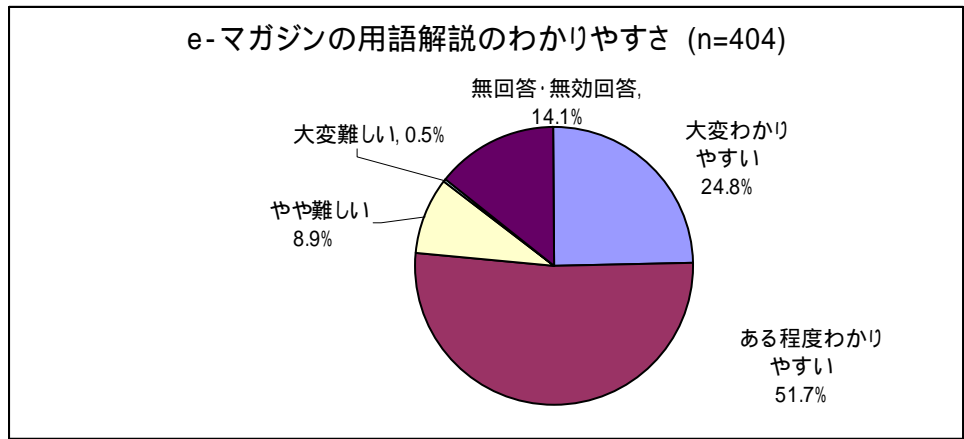
その他の用語、理由については、別添参照。

「食品安全委員会 e-マガジン」(メールマガジン)の用語解説のわかりやすさ

問 6 食品安全委員会では「食品安全委員会 e - マガジン」(メールマガジン)において、用語集に記載されている用語をよいかみくだいて解説しています(参考)参照)。メールマガジンの用語解説は、どの程度わかりやすいですか。次の中から一つ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

◆ 7割以上の方が「わかりやすい」と評価

メールマガジン「食品安全委員会 e - マガジン」に掲載されている用語解説について、総じてどの程度わかりやすいかという問に対して、「大変わかりやすい」との回答割合は 24.8%、「ある程度わかりやすい」との回答割合が 51.7%で、合計で7割を上回った。



## 用語集について気付いた点、意見等

問7 そのほか用語集について、実際に御利用いただいた際にお気付きになられた点や御意見などがございましたら、回答欄に出来るだけ具体的に記入してください。

概要は以下の通り。詳細は別紙参照。

### 1. 利用した意見

#### (1) プラス意見

- ・ 簡潔にわかりやすく解説されていると思う。
- ・ 目次はテーマでまとめてあり、見やすい。
- ・ 字が大きくて見やすい。

#### (2) マイナス意見

- ・ カタカナ言葉が多すぎて、理解しにくい。
- ・ 解説が簡潔すぎる箇所がある。
- ・ 文章が長すぎてわかりづらい部分がある。

#### (3) 要望

- ・ 表や図、写真などを入れると良い。
- ・ カラー印刷、太文字等を加えると読みやすい。
- ・ 大きさをもう少し小さくした方が持ち運びしやすい。
- ・ 章あるいは項目ごとにも参考資料、URL等サイトの資料があると良い。

#### (4) 疑問点

- ・ 「一般消費者向け」なのか、「ある程度食品に対する知識を持つ者」のためのものか分からない。

#### (5) 意見

- ・ 改訂の頻度などをもう少し期間を短くできるといいと思う。
- ・ 参照先を多く載せるとすぐに問い合わせができる。

2) いわゆる健康食品の摂取状況について

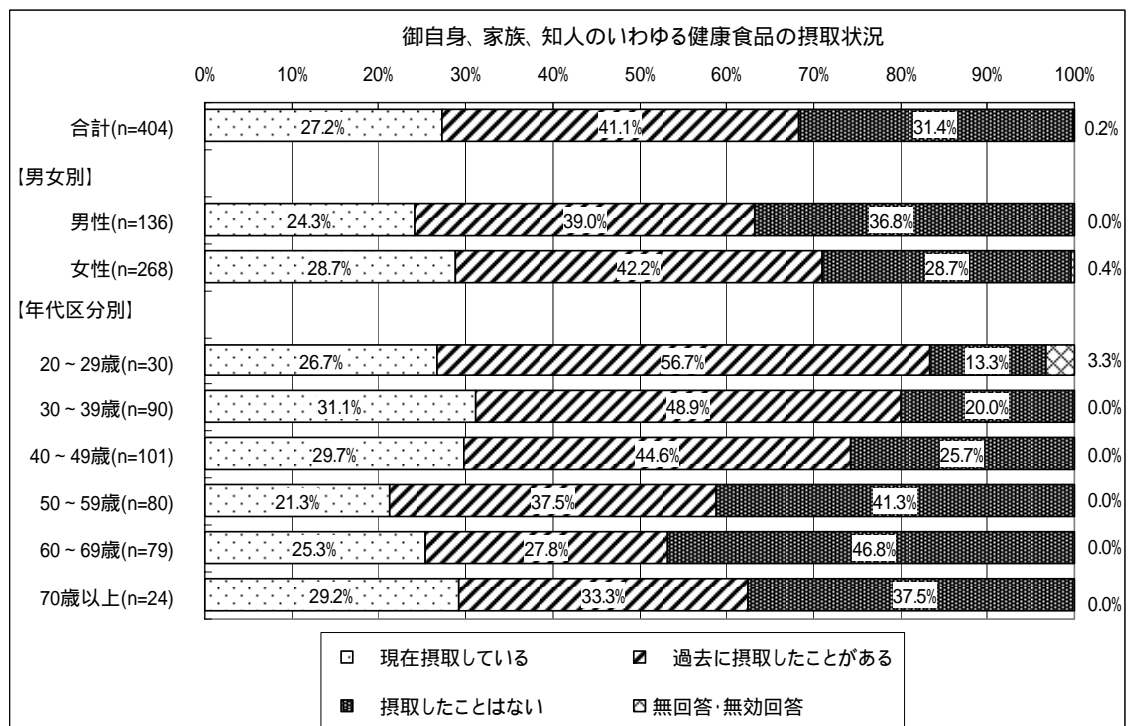
御自身あるいは家族、知人のいわゆる健康食品の摂取状況

問8 あなたはこれまでいわゆる健康食品を摂取したことがありますか。次の中から一つ選び、選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

◆ いわゆる健康食品の摂取経験は約7割で、若年層ほどその傾向は高まる

いわゆる健康食品を「現在摂取している」(27.2%)と「過去に摂取したことがある」(41.1%)の両方を合わせた7割弱が、摂取経験がある結果であった。

摂取経験については、年代区別では若年層に従い摂取経験は高まる傾向であった。



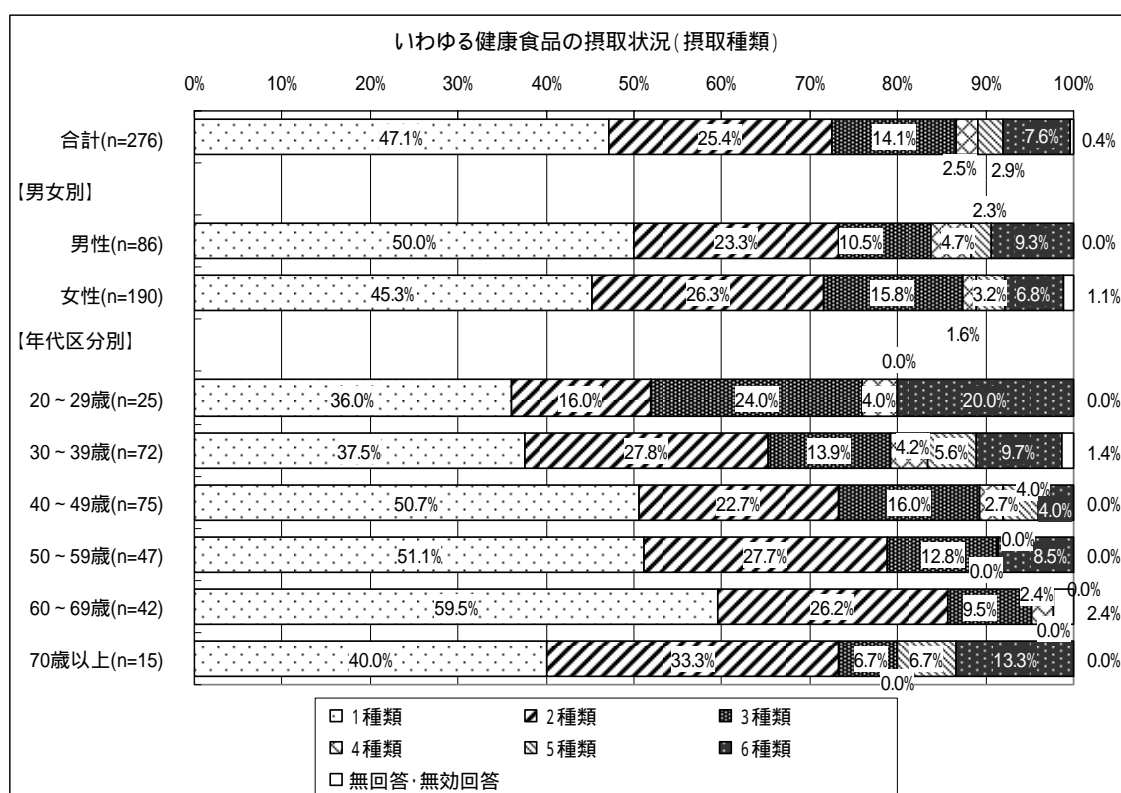
摂取種類、摂取頻度、摂取期間

問9 問8で「現在摂取している」、「過去に摂取したことがある」と答えた方に伺います。摂取したことがあるいわゆる健康食品の摂取種類、摂取頻度、摂取期間について、次の中からそれぞれ一つずつ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

) 摂取種類

◆ 1種類の摂取経験は5割弱、2種類の摂取は2割強

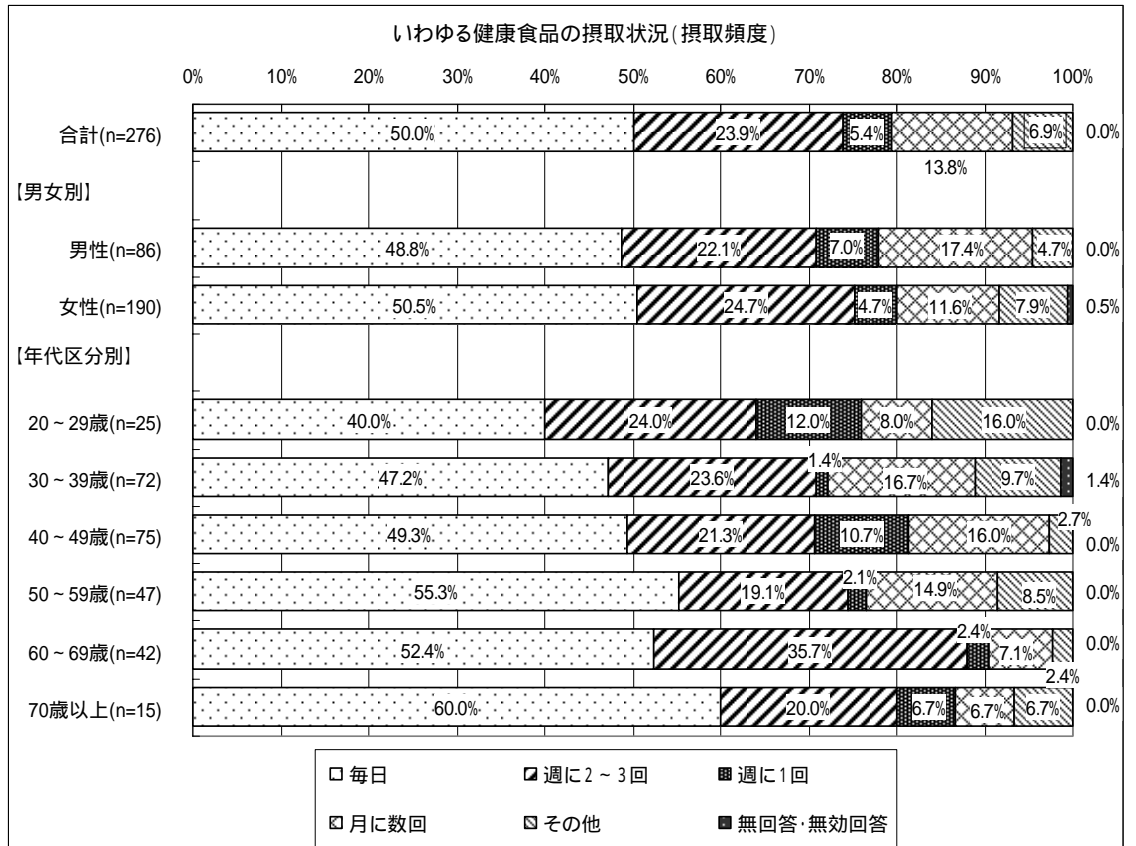
いわゆる健康食品を摂取したことがある人に対し、摂取したことがある摂取種類を聞いたところ、「1種類」が47.1%、「2種類」が25.4%であった。



) 摂取頻度

◆ 摂取は「毎日」が半数、「週に2～3回」が2割強

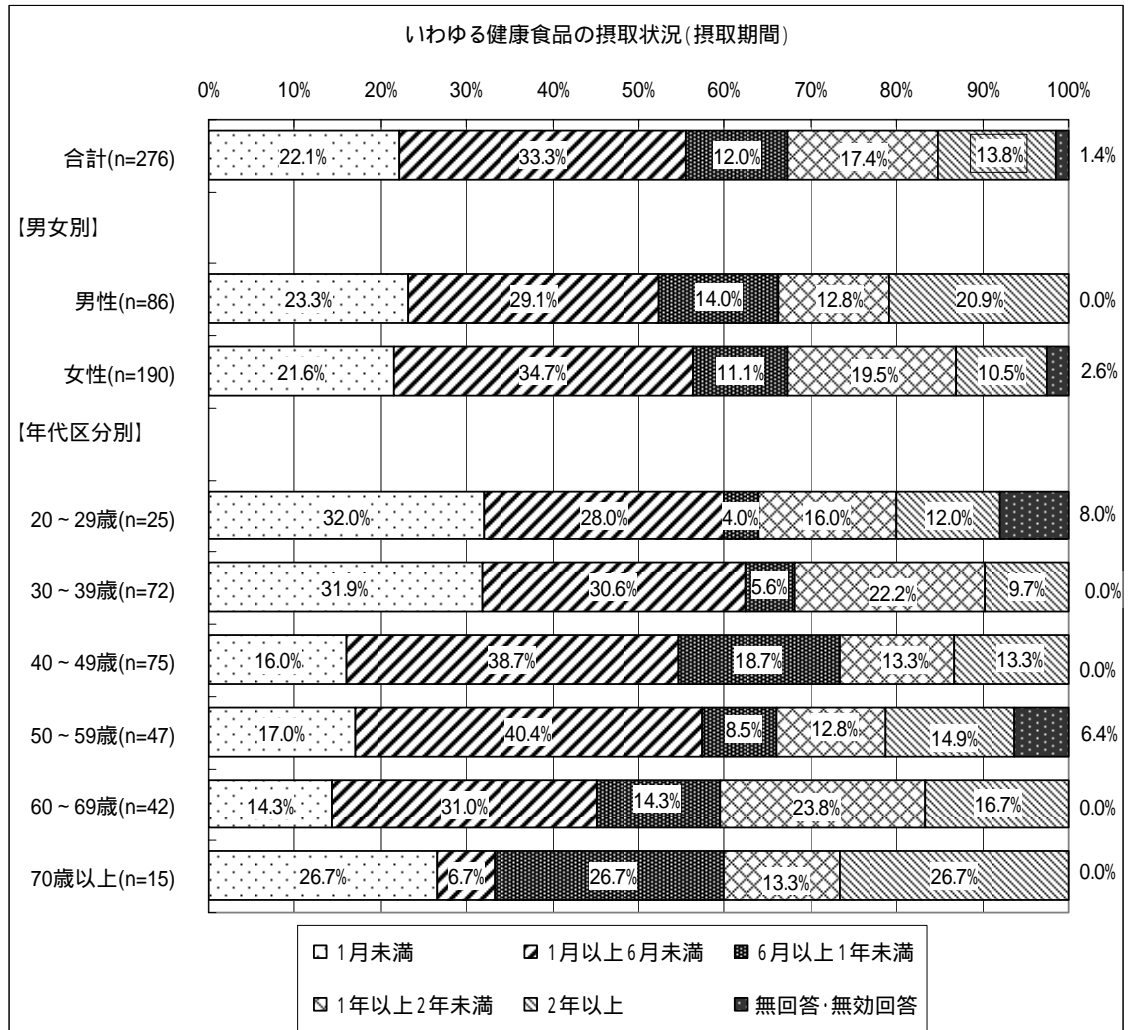
いわゆる健康食品を摂取したことのある人に対し、摂取したことのあるいわゆる健康食品の摂取頻度を聞いたところ、「毎日」が50.0%、「週1～2回」が23.9%であった。



) 摂取期間

◆ 最も多い摂取期間は「1月以上6月未満」であり3割強、続いて「1月未満」で2割強

いわゆる健康食品を摂取したことのある人に対し、摂取期間をきいたところ、「1月以上6月未満」が33.3%、「1月未満」が22.1%であり、この二つの選択肢の合計（6月未満）は5割強であった。続いて「1年以上2年未満」が17.4%、「2年以上」が13.8%、「6月以上1年未満」が12.0%であった。



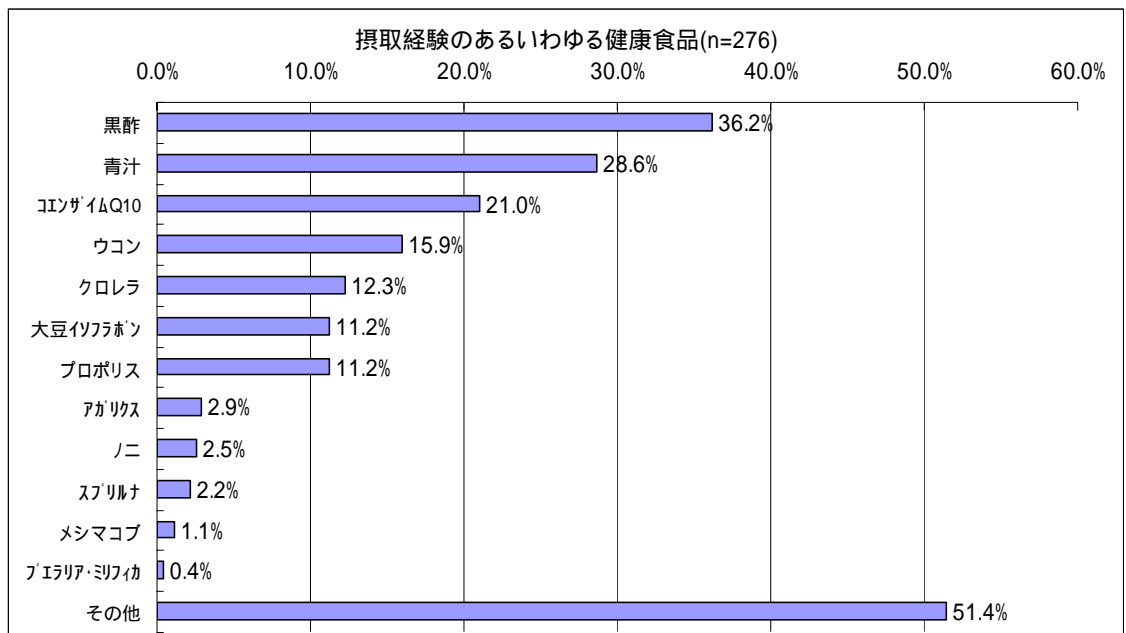
摂取経験のあるいわゆる健康食品

問9 問8で「現在摂取している」、「過去に摂取したことがある」と答えた方に伺います。摂取したことのいわゆる健康食品は具体的にはどのようなものですか。次の中から選び、回答欄に該当する番号を記入してください（複数回答可）。また摂取したことのいわゆる健康食品は具体的にはどのようなものですか。次の中から選び、回答欄に該当する番号を記入してください。（複数回答可）。

今まで食の安全ダイヤル等に問い合わせのあったもの及び平成17年度食品安全確保総合調査において回答数の多かったものを掲載しています。

- ◆ 摂取経験のあるいわゆる健康食品の中で、黒酢の摂取は4割弱、青汁の摂取は3割弱、コエンザイムQ10は2割強

いわゆる健康食品を摂取したことのあつた人に対し、摂取したことのあつたものについて具体的にきいたところ、「黒酢」が36.2%、「青汁」が28.6%、「コエンザイムQ10」が21.0%であつた。続いて、ウコン、クロレラ、大豆イソフラボン、プロポリスという順に高い。





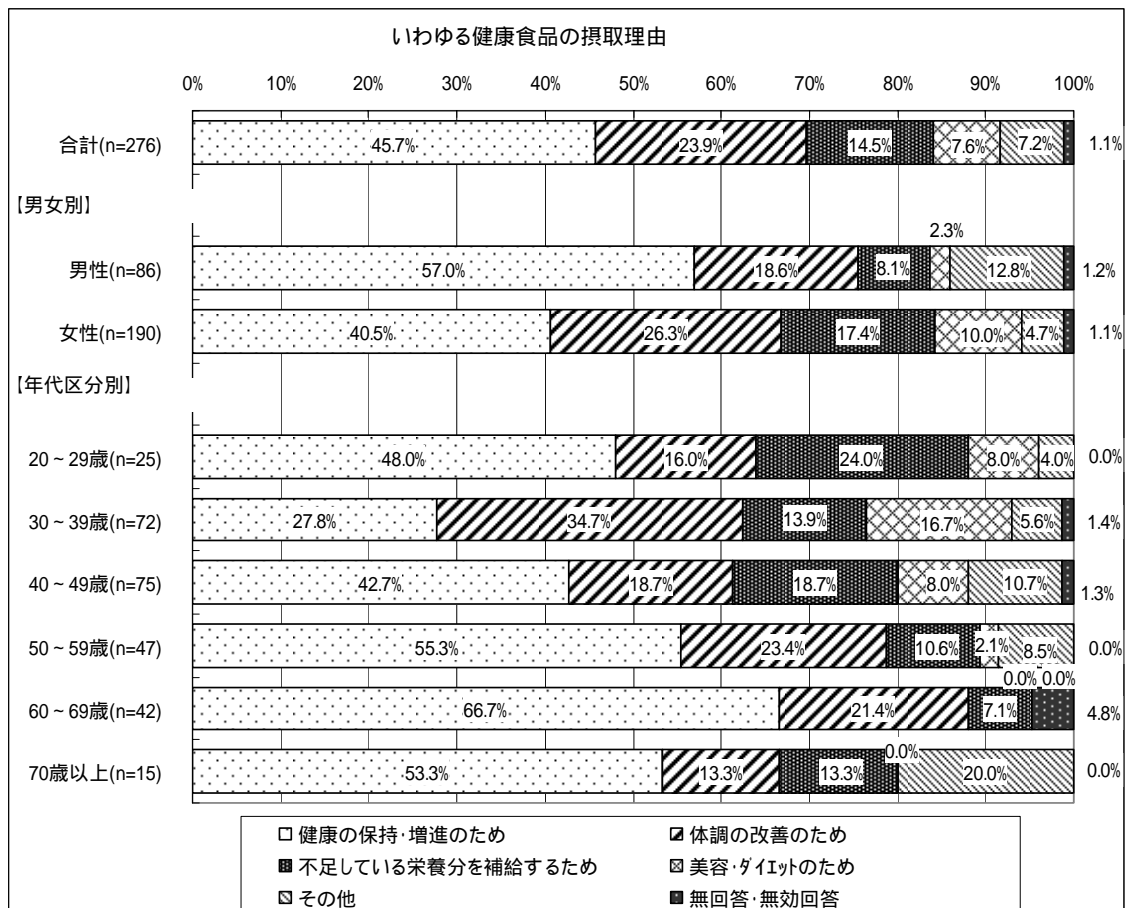
摂取理由

問 10 問 8 で「 現在摂取している」、「 過去に摂取したことがある」と答えた方に伺います。いわゆる健康食品を摂取した理由について、次の中から二つ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

「健康保持・増進」という摂取理由が最も高く約5割、続いて「体調改善」が2割強

いわゆる健康食品を摂取したことのある人に対し、摂取した理由についてきいたところ、「健康保持・増進」が45.7%、「体調改善」が23.9%、「不足している栄養成分を補給するため」が14.5%であった。

男女別では、どちらも「健康保持・増進」が最も多い理由だが、「不足している栄養成分を補給するため」と回答した割合は、男性より女性の方が高かった。

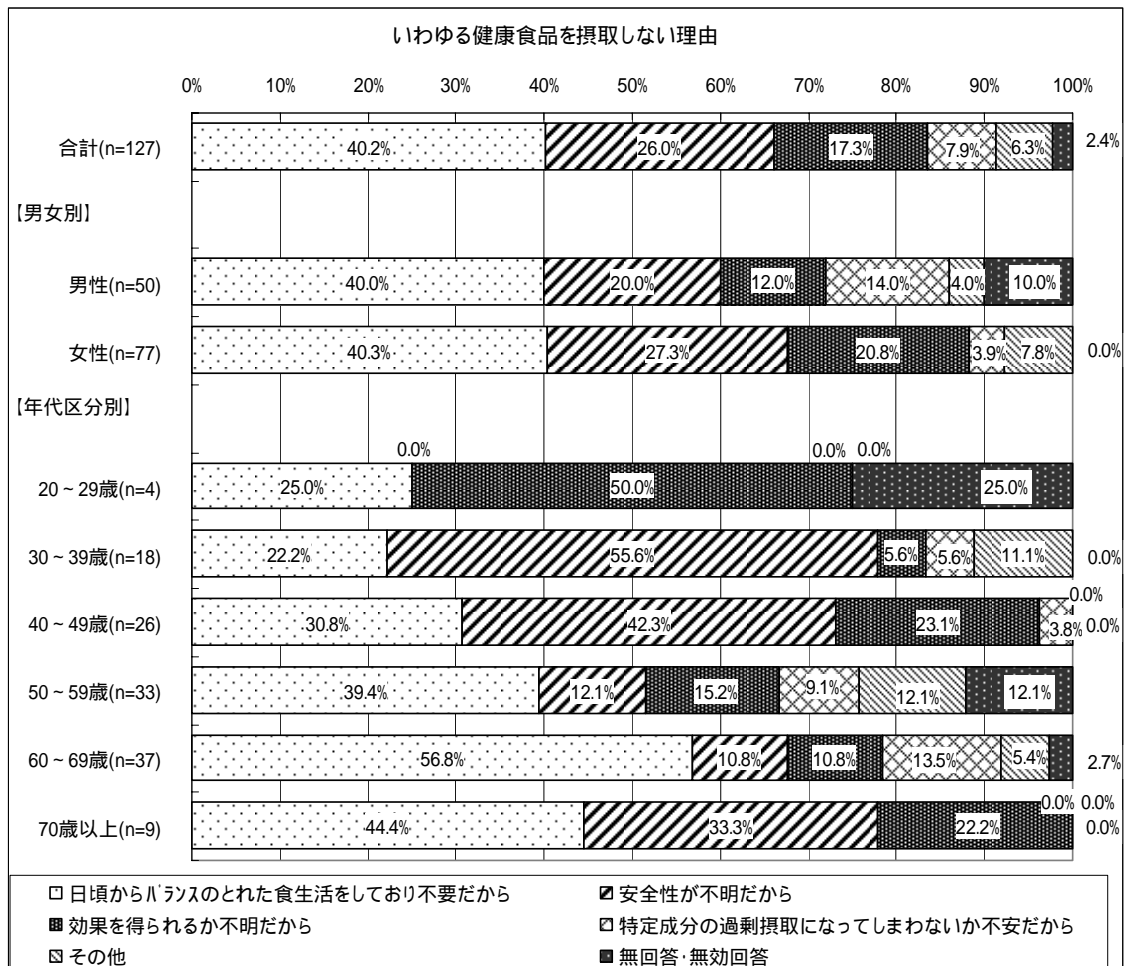


### 摂取しない理由

問 11 問 8 で 「摂取したことはない」と答えた方に伺います。いわゆる健康食品を摂取しない理由について、次の中から一つ選び、回答欄に該当する記号を記入してください。

- ◆ いわゆる健康食品を摂取しない理由としては「日頃からバランスのとれた食生活をしており不要だから」が4割強が、「安全性が不明だから」が2割強、「効果が得られるか不明だから」が2割弱

いわゆる健康食品を摂取したことのない人に対し、摂取しない理由について具体的に聞いたところ、「日頃からバランスのとれた食生活をしており不要だから」が40.2%、「安全性が不明だから」が26.0%、「効果が得られるか不明だから」が17.3%であった。

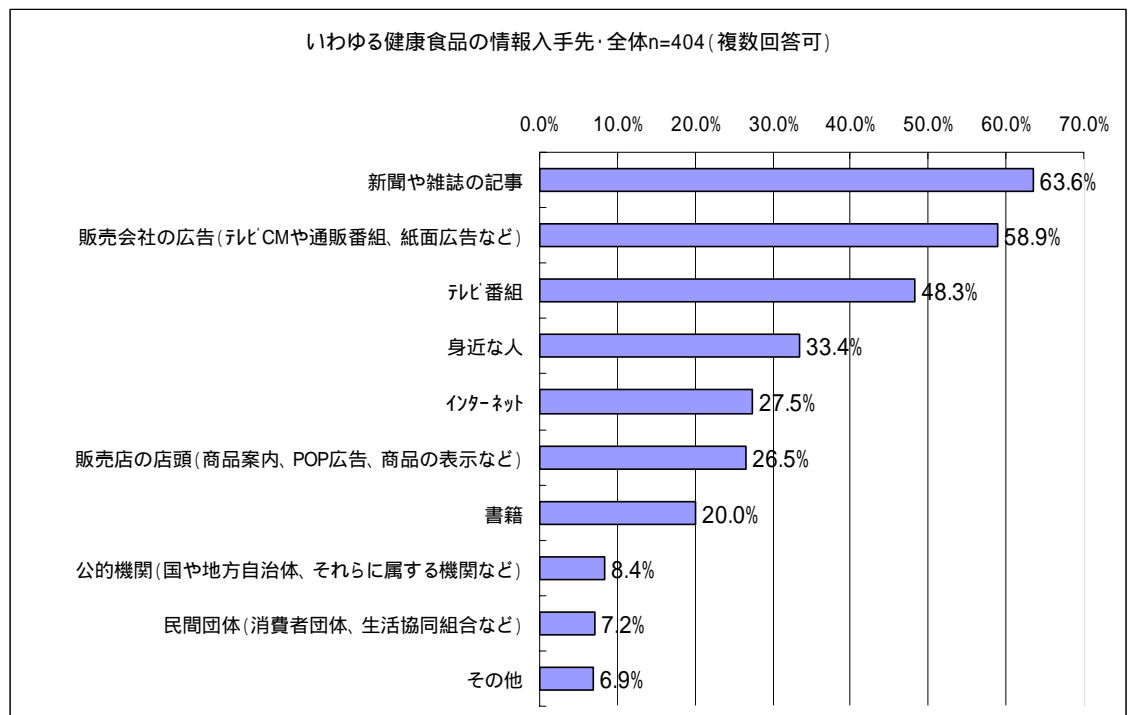


## 情報の入手先

問 12 いわゆる健康食品についての情報をどちらから入手していますか。次の中から選び、回答欄に該当する番号を記入してください(複数回答可)。

- ◆ いわゆる健康食品の情報入手先として6割強が「新聞や雑誌の記事」、続いて「販売会社の広告」、「テレビ番組」と続く

いわゆる健康食品の情報入手先として「新聞や雑誌の記事」が63.6%、「販売会社の広告」が58.9%、「テレビ番組」が48.3%、「身近な人」が33.4%であった。

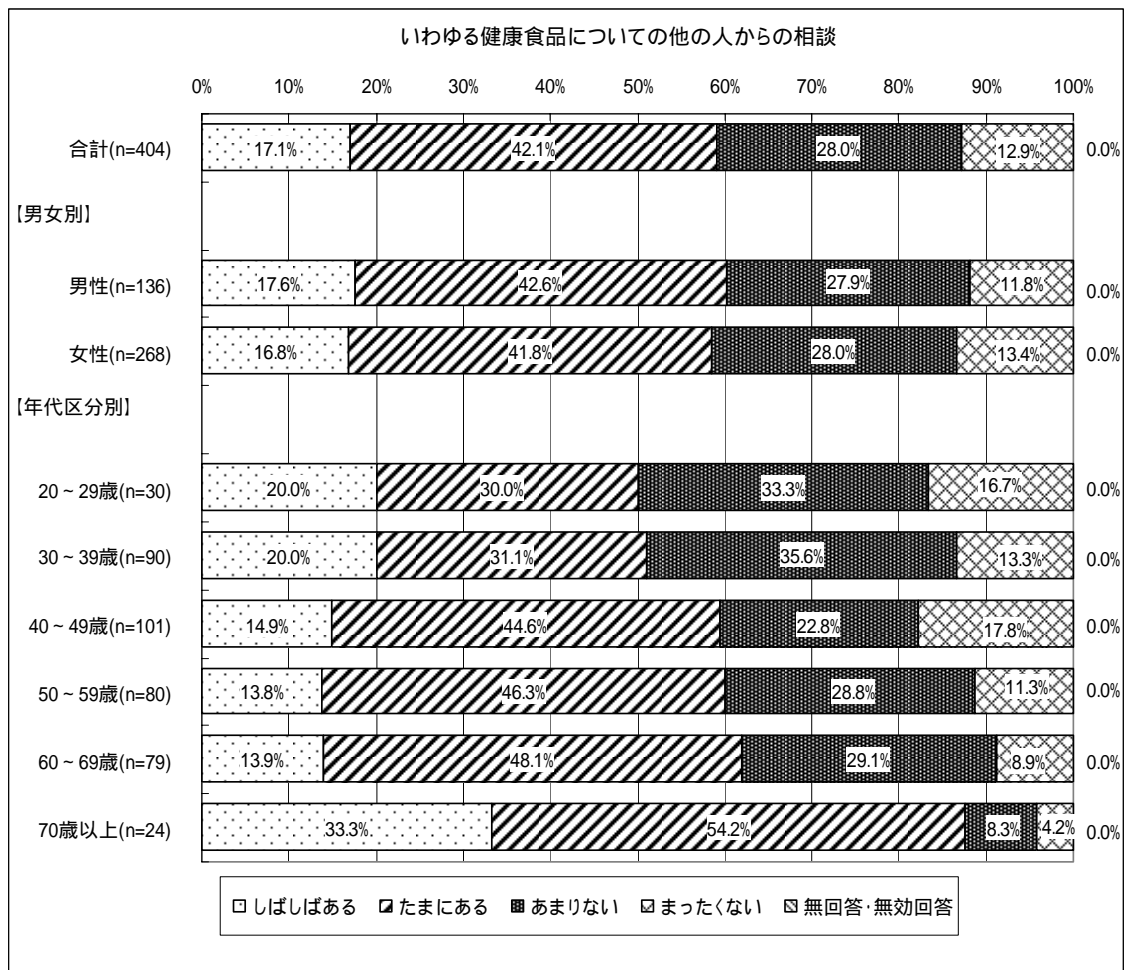


他の人から相談を求められる頻度

問 13 いわゆる健康食品について、他の人から相談を求められることがどのくらいありますか。次の中から一つ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

◆ いわゆる健康食品について、6割弱が他の人から相談を求められる傾向

いわゆる健康食品について、他の人から相談を求められることは「しばしばある」という回答割合が17.1%、「たまにある」が42.1%、「あまりない」が28.0%、「まったくくない」が12.9%であった。

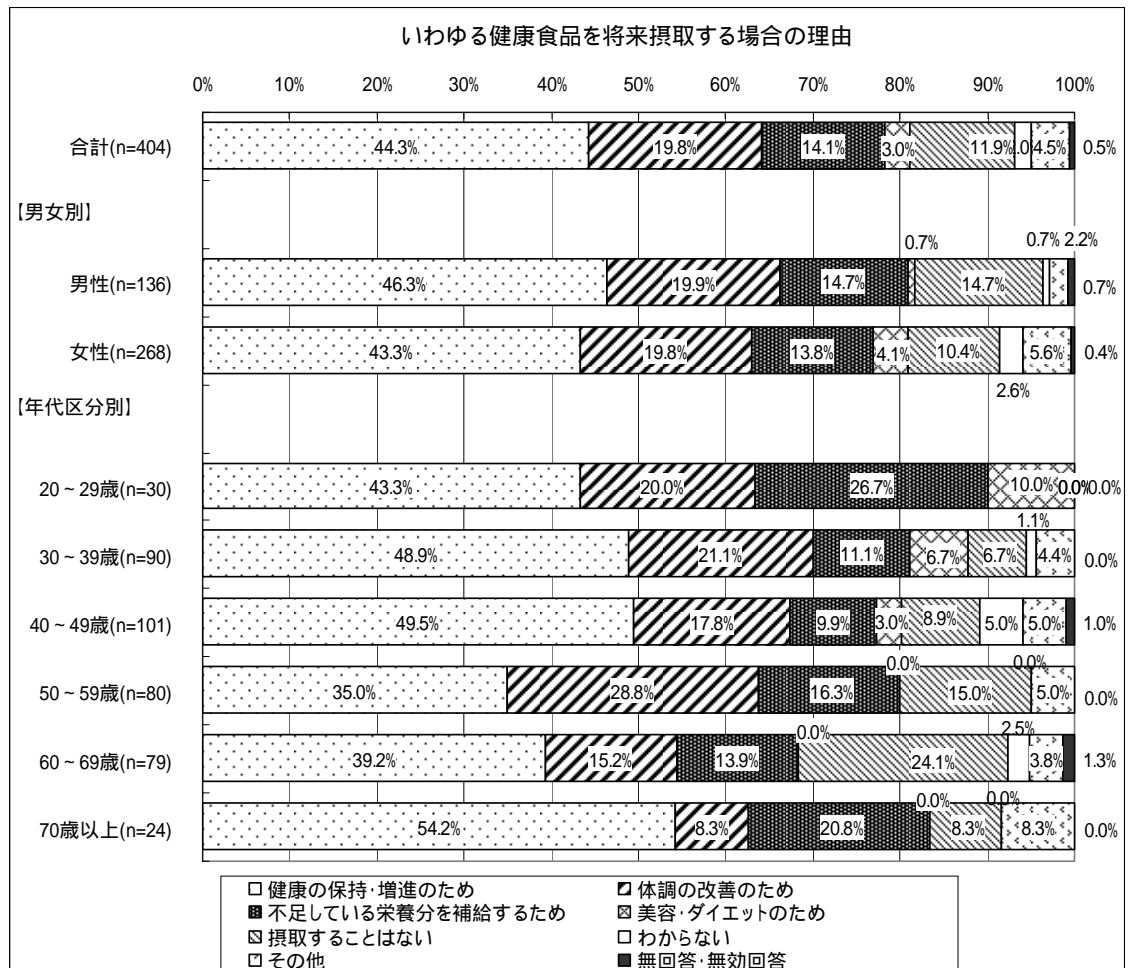


いわゆる健康食品を将来摂取する場合の理由

問 14 いわゆる健康食品を仮に将来において摂取するとした場合、それはどのような理由からになると思いますか。次の中から一つ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

- ◆ いわゆる健康食品を仮に将来において摂取する場合の理由は「健康保持・増進」が最も多く4割強、続いて「体調改善」が2割弱

いわゆる健康食品を仮に将来において摂取する場合の理由を聞いたところ、「健康保持・増進のため」が44.3%、「体調の改善のため」19.8%、「不足している栄養成分を補給するため」が14.1%であった。この選択肢の順は、いわゆる健康食品を現在摂取している人の摂取理由と同じであった。



# 別添

## 【「その他」自由記述回答】

問3 現在、事務局で用語の追加を検討しています。回答欄に記載されている用語のうち、特に必要性が高いと思われるものから、五つ以内で選び、その番号にをつけてください。また、これら以外に掲載が望ましいと思われる用語がございましたら、「その他」の欄に記入してください。

## 【「その他」自由記述】

用 語	件数	用 語	件数
ISO22000	7	最小毒性量	1
AIB	4	再生技術	1
フード・ファイテム	3	カモネギンテリテイ	1
アレルギー	2	残留農薬検査	1
メチアリテラシー	2	硝酸濃度	1
メチル水銀	2	食育基本法	1
メタリックシフト・ローム	2	食事摂取基準	1
トキソプラズマ	2	食生活アドバイザー	1
アニサキス	2	食中毒	1
アクティブ・サーベランス	1	食品・食器の洗剤	1
アクリルアミド	1	食品害虫(メカ等)	1
アドバイザー・スタッフ(NR・サブ・リメントアドバイザーなど)	1	食品擬装	1
アフラトキシン	1	食品循環資源の再利用等の促進に関する	1
アミサス	1	食品製造加工規制	1
育種	1	食品添加物の安全基準の表	1
遺伝子組換え	1	食品添加物を具体的に1つずつ	1
衛生研究所(都道府県の)	1	食品の温度管理	1
栄養管理加算(介護保険)	1	食品表示のEPLレベル	1
化審法	1	植物性乳酸菌	1
学校給食法	1	食物アレルギー	1
寄生虫	1	食料自給率	1
既存添加物	1	飼料製造管理者	1
拮抗薬	1	シバ・イテクス(プロ・プレ・シ)	1
虚偽・誇大	1	水分活性	1
金属毒性	1	総合衛生管理製造過程	1
グリホサート農薬	1	相互作用(薬物・食物成分)	1
景品表示法	1	増粘多糖類	1
健康食品	1	外挿法	1
健康食品の検査機関	1	タール色素	1
合成着香料	1	地域保健法	1
酵素阻害反応法(分析法)	1	乳等省令	1
高度機能表示	1	動物ごとの注射方法技術	1
高齢者用食品	1	動物由来感染症	1
国内と国際の安全基準と基準数値及び安全度の落差	1	登録保留基準	1
国立公衆衛生院	1	特定用途食品	1
コホート	1	鳥ウイルス	1
細菌	1	トリヒ	1

用語	件数	用語	件数
トレーサビリティ	1	野菜と電子レンジの関係	1
内閣府	1	有機(JAS)	1
二重盲検法	1	有機JAS(法)	1
日本の農薬と世界の農薬	1	有機栽培農産物	1
農薬	1	有機食品	1
農薬散布ヘリコプター	1	有機農産物	1
バイオアッセイ(分析法)	1	有機農法	1
バイオアビリティ	1	有機農法の野菜の基準	1
培養酵素増殖	1	輸出国検査制度	1
バクテリア	1	リスク・トレイト	1
病原体毎と感染法	1	冷蔵・冷凍	1
病者用食品	1	(不)飽和脂肪酸	1
日和見感染	1	ISO-17025	1
品種改良(伝統的育種の交配による組換え)	1	ATP(アテントリフォスフェート)(鮮度・衛生の)	1
ファイトケミカル	1	CSR	1
フードチェーンアップ・ローチ(フードチェーンを除いて)	1	GAP	1
複合汚染の相乗作用	1	GHS	1
プロシボ(効果)	1	GM食品	1
防腐剤	1	JAS	1
保健推進委員	1	JAS法	1
ホリスティック現象	1	JASマーク(法)	1
ホリスティック	1	NR	1
マーケットバスケット方式	1	N-ニトロ化合物	1
無農薬検査	1	O157	1
命令検査	1	PRTR	1
マトリックス	1	Q熱	1
モニタリング検査	1	Reach	1
薬品認証と食品	1		

問5 知りたい用語のうち、解説が難しかった（理解しにくかった）ものがありましたら、具体的にその用語をあげ（三つ以内） その理由を記入してください。

ページ	用語	件数	理由区分	理由
7	ベンチマークトーズ	35	分りにくい理由	<p>全体の意味がよくわからない。</p> <p>具体的な例や統計表がないので、実際的な把握ができない。</p> <p>専門的な説明で、一般の人々には内容をすべて理解するのが極めてむずかしいと思う。もっとかみくだいて、わかりやすく説明してあるとありがたい。</p> <p>暴露量など用語がわからない。</p> <p>設例がないと理解しづらい。</p> <p>難しい言葉で理解しにくい。</p> <p>漠然としていて、どういう場合使われる言葉なのが見当がつかない。</p> <p>常時使用している人は分かるが、解説の言葉に専門用語が多すぎる。</p> <p>2.毒性および毒性試験に関する用語や3.分析・単位に関する用語のあたりは専門的で難しく、なかなか分りにくい。</p> <p>異常率に括弧書きが付されているが、その言葉の意味がわからない。</p> <p>説明に使われている暴露量の意味がよくわからないため。</p> <p>常に使っていないので、実際のイメージがつかめない。</p> <p>暴露とは「ゲート」の事ですか。</p> <p>対象集団の異常率(カット値)の説明がない。文章全体からも理解が難しい。</p> <p>説明文そのものに難解な用語が多く理解できない。</p> <p>カット値とは？</p> <p>言葉がむずかしい。</p> <p>専門用語で理解しにくい。</p> <p>説明を専門用語で説明(量-反応関係(?)、暴露量(?))それらを又調べなくてはいけないので。</p> <p>説明が難関。</p> <p>リストなどの図示がないと理解しにくいから。</p> <p>個人的に統計学の知識が貧弱であるため。</p> <p>知らない言葉で、説明を読んでも何のための用語なのかわからない。</p> <p>解説が難しい。理解できない。</p> <p>生物学的変動、統計的不確実性 解釈間違いをしがちになる。用語自体がむずかしい。</p> <p>どんな時に使う用語なのかわからない。</p> <p>専門的すぎて理解出来なかった。</p> <p>BMRが何かよくわからない。「カット値」というのもわかりづらい。</p>
			要望・提案	<p>「量-反応関数を示す関数において～」に関しては、表などを導入した方がわかりやすい。(何の関数かわからない)</p> <p>図を使うとわかりやすくなる。</p> <p>難しすぎるので、平易な説明も追加してほしい。</p> <p>読んでも何の事かわからない。もっと平易な言葉で。</p> <p>もう少し深い具体例の表示をしてほしい。</p> <p>具体例を示してほしい。</p>
			無記入	



ページ	用語	件数	理由区分	理由	
5	暴露評価	10	分かりにくい理由	暴露の意味が解説されていないので。 説明文中に用語集にのっているような文言「ハザード」などを使用してはよけいにわかりにくい。5ページの図は、一般人に、対数グラフはどうか。	
				「定性的または定量的な評価」 具体的な考え方がつかめない。暴露という言葉が素直に入っていない。違う言葉はどのようなものか。	
				「定性的または定量的な評価」とはどのような評価なのか分かりづらい。 ハザードの意味がわからない。横文字をもう少し少なくすべき。	
				具体的なイメージがつかみにくい。	
			要望・提案	「ハザード」と記載があるが、「ハザード（危険要因）」とするか（注P.1）と附記してはどうか。	
			その他	食品以外で、具体的にどのようなものに起因する暴露があるのか。 食品危険物質摂取のリスクを定量評価することと解釈してよろしいか。解釈に迷っている。なにもなくても、自然界から放射線を浴びているリスクがあるので、それを定量評価することも解釈できる。	
			無記入		
19	ポジティブリスト（制度）	9	分かりにくい理由	文中にポジティブリスト制度の文がない。 大切な事と思うが、残留農薬の基準値で種類が多いのでわからない。	
				この制度を、いつ、どこで、誰が、どのように実行しているのかがわからない。なので、この制度が食の安全にどれくらい役立つのか、具体的に理解しにくい。	
				なかなか分かりづらい。もう少しやさしい説明がほしいです。	
				一行目の文章から難解。何を指しているのかもわからない。 いいまわしが難しい。	
			要望・提案	制度自体が難しいのではないと思うが、例示も欲しかった。 制度そのものは理解出来るのですが、具体例で説明が欲しいです。	
			その他	残留濃度で投薬の場合、使用した、使用しないの問題はおきないのか。	
24	アジュバント	8	分かりにくい理由	解説内容の意味が分からない。（勉強不足かもしれない） 解説が分かりにくい。	
				要望・提案	免疫賦活剤で説明された方がわかる気がする。 具体的な説明なら理解が早い
				その他	抗原（外来の異物）と組み合わせることで、抗原に対する感受性を増幅。 免疫賦活剤である程度理解できるが、どういう時に使用されるのか分からない。 通常あまり耳にしない。
				無記入	

ページ	用語	件数	理由区分	理由
55	消費期限と賞味期限	8	分かりにくい理由	定められた方法により保存した場合とは、どういう場合か。賞味期限は5日以上をさしているのでしょうか。それを「ただし当該期限を越えた場合であっても、これらの品質が保持されていることがある」はどのような意味を持っているのでしょうか。
			要望・提案	説明が不足。誰がどのような根拠で、どんな方法で決めるのか、その合理的理由が分からない。また国際基準とどの様に異なり、どんな問題があるのか、最も重要な表記であるので、正確な記載にして欲しい。 どちらについても、主としてどのような食品に付けられるのか、その違いがわかるように書かれていない。また、誰が決定してつけるものかも説明に加えてほしい。 「消費期限……表示される。」改行や読点が多くて文章として読みづらい。 消費期限も賞味期限も劣化速度の違いであるから、どちらかにしぼった方がよい。(消費期限は購入する際、一番先に見る箇所である。)法的な規定(?)はまだないと思うが、生産者の経験的な加でできているのだから、もっとしぼって社内規定などでなく細分して分けて定めて公布すべきであり、当然、実施しないときは罰則も併せて設けてはどうかと思う。
			その他	なぜ言葉を使い分ける必要があるかが不明。 消費期限と賞味期限の意味はわかるが、どちらにすべきか判断基準が難しい。
50	HACCP	7	分かりにくい理由	原則の表が見つらなかった。 文章が長く、単語が難しい。一般人には理解しにくくと思う。 説明不足です。 毒物劇物の判定基準。
			要望・提案	より具体的な説明ならすぐ理解できる 日本的な解釈になっているが、コーデックスの考え方も取り入れるべきでは。例えば、製造工程だけではないのでは…。生産から消費まで。
			無記入	
36	ノロウイルス	7	要望・提案	一応の解説がなされているが、今冬、全国を震撼させたノロウイルスの恐怖が伝わってこない。 <対策>のところ。手指を洗淨と書いてありますが、「指と指の間を手洗いが大切」の方が具体的です。 昨年の感染は主に貝類などではなかったため、人的感染についてより詳しく記載した方がよいのでは？ <特徴> 塩素系殺菌剤やアルコールに「抵抗性がある」より「効果がない」等と表現した方が分かりやすいのでは。 特徴を食中毒と書いてあるが、今年度はむしろ感染症での被害が大きかったこともあるので、感染症についての対応策とあわせて、塩素系殺菌剤の使用方法等も必要ではないか。尚、アルコール対応は不適當と思っていたので、その所も詳しくのせてほしい。
			その他	このページでは貝類、蚌などが犯人であるような記述だが、最近では、そうとも言えないのでは？ もう少し柔軟な対応があってはいいのではないのでしょうか。 昨年、県内でも多くの患者が出て、いろんな行事にも支障が生じた。
7	交絡	6	分かりにくい理由	何のために用いる言葉なのかわからない。 具体的なページがわからない。 第三の要因がどんなものかわからない。
			要望・提案	例があるとわかりやすいと思う。 読んでも何の事かわからない。もっと平易な言葉で。
			その他	むずかしい。

ページ	用語	件数	理由区分	理由
15	イ・ビト	6	分かりにくい理由	どんな状態の事なのか、理解出来ない。 日本語で表記すべきで加付語が多すぎる。 分かりやすいようにイ・ビトと対比して説明してあるが、かえって混乱して分かりにくいと思うので、それぞれの説明だけにした方がわかりやすいと思う。
			要望・提案	何のことがよくわかりません。詳しく解説して下さい。 聞いたことがない言葉で、具体的な事例を示してあげればと思った。もう少し詳しく。 読んでも何の事かわからない。もっと平易な言葉で。
15	イ・ビホ	6	分かりにくい理由	日本語で表記すべきで加付語が多すぎる。 分かりやすいようにイ・ビトと対比して説明してあるが、かえって混乱して分かりにくいと思うので、それぞれの説明だけにした方がわかりやすいと思う。
			要望・提案	何のことがよくわかりません。詳しく解説して下さい。 聞いたことがない言葉で、具体的な事例を示してあげればと思った。申し少し詳しく。 「生物の体内で生体物が機能している。」理解している人が聞けばピンときますが、業界内でない人では意味が通じにくいかと。具体例があるとよい。 「生物の体内で生体物が機能している。」理解している人が聞けばピンときますが、業界内でない人では意味が通じにくいかと。具体例があるとよい。
26	内分泌かく乱物質	6	分かりにくい理由	言葉とだいたいの意味は知っているが、もう少し詳しく調べたいと思うとはっきりしない。 もう少し詳しく書いてほしい。
			要望・提案	最新の情報を含み、現在疑わしいとされる物質名も記載してはどうか。 具体的な名称をあげて詳しく説明してほしい。特に知りたい項目である。 「環境ホルモン(内分泌...)」で掲載すべき。索引には両方で(外の事例でも両方載せるべき)又、説明文が少ない。
			その他	ダイオキシンやアフラトキシンなどの物質が最近になって大きく問題化している。
20	食品中に残留する農薬等へのポジティブリスト制度の導入	5	分かりにくい理由	ポジティブリストとネガティブリストがあるのは分かったが、例外等があつてよく分らなかった。 表(2つの表の違いの具体性がわかりにくい)
			要望・提案	図の説明は、もっと簡単な説明で違いを示して欲しかった。 ポジティブリスト制度への移行後の説明図につきまして、特に食品の成分に係る規格(残留基準)が定められていないものの具体例をあげていただきましたら、より理解しやすいと思います。
			その他	農薬、飼料、添加物及び動物用医薬品の残留基準が定められてなくて流通しているものに規制がない。
5	閾値	4	分かりにくい理由	最初の説明ではなかなか難しい。用例により理解できたような感じもするが、もっとわかりやすく説明してほしい。 初めて聞いた言葉で理解しにくかった。 専門用語の為、消費者の私にとっては他では使用する言葉でなく、わかりづらいです。 考え方自体が日常生活でとらえにくく、具体例などの説明要。
5	ゼロリスク	4	分かりにくい理由	「ゼロ」の意味がわからない。横文字をもう少し少なくすべき。 「ゼロ」の暴露が「ゼロ」という表現が理解しにくい。
			要望・提案	日本語で説明すべき。
			その他	用語「低減を図るリスク分析手法。このフェーズでリスクの低減を図る」という考え方。これは誤解を生む。

ページ	用語	件数	理由区分	理由
7	毒性	4	分かりにくい理由	mg/kgの量がわかりにくい。
			要望・提案	説明は明確なものであるが、下図の説明要。 毒性分類に注釈を付けているが、表の出典として記述した方がわかりやすい。 表の「LD50」は次のページに書いてあるが、わからない場合は探すのがたいへん。日本語表記もあるとわかりやすい。
12	薬理（学）試験	4	分かりにくい理由	薬理（学）試験の説明に、薬理学的手法を用いるという意味がわからない。
			要望・提案	具体的例を1,2示してくれたらありがたい。 薬理学試験には薬効を裏付ける試験、副次的薬理試験及び安全性薬理試験の3つに分けられる。もう少し詳しい説明がほしい。(医薬審発第902号参照) もっと詳しく説明してほしい。
26	内分泌かく乱物質（いわゆる環境ホルモン）	4	分かりにくい理由	具体的にどのような物質があり、どのような形で体内に取り込まれ、どのような危険性があるのかがよくわからない。 ホルモンの解説に比べて、本文の説明が短く、わかりにくい。
			要望・提案	「外国製の物質」 例えばという風な事例がほしいです。 主な例や何に気を付けたらよいのか、教えてほしい。
38	地理的BSEリスク	4	分かりにくい理由	表はわかるのですが…。もっと簡単に書けそう。 「臨床的および不顕性的に見た場合のBSE…。この箇所の意味がむずかしい。 具体例がないので、わかりにくい。現在の日本は、GBレベルは何でしょうか？ 説明文の意味がわからない。
			要望・提案	
45	遺伝子組換え食品	4	分かりにくい理由	取り入れた場合の影響。具体的に、日本での流通はどの辺りまで来ているのか。 遺伝子組換えした作物にどのようなリスクがあるのかがわからない。
			要望・提案	もう少し詳しい解説が欲しい。加工食品31品目群は掲載して欲しい。消費者の関心は非常に高いです。 下から4行目「31品目群（豆腐、納豆など）とあるが、その31品目群も全項目、注に示して頂きたいと思う。 具体例は理解できるが、「特定の保健の用途に資するもの」の意味が不明。
47	特定保健用食品	4	分かりにくい理由	3行目からの「特定の保健の用途に資するもの」の「特定の保健」。(前文に例があるが、解りにくい)
			要望・提案	「トホ」という略称の方が認知度は高いので、索引欄でもカッコ書きで(トホ)と入れるとよいと思います。 「国の許可」 担当省庁を記載すべき。
2	定性的リスク評価	3	分かりにくい理由	「定性的」とはどのようなことを示すのか、わかりやすく説明を加えてほしい。 定性的に評価とありますが、定性的がはっきりわかりません。
			要望・提案	食品中に含まれる「ハザード」「毒性物質」か「危害物」等と表現すべき。
3	一日摂取許容量	3	要望・提案	ある物質の一定量これが多種類のものを一生摂取し続けてもか、など説明があれば良いと思う。
			その他	ADIの説明はわかるのですが、専門調査会の議論を読むと同じ物質について、同じ文献を評価しているのに、そこから得られるADIが各国で異なるのをどのように説明するのか、難しい問題と思われまます。 この場合は、ADIと一日摂取許容量が索引にも有るからわかりやすい。ADIs等もこのようなものを基に記事を書くのであろうから、統一性のあるものに仕上げさせていただきたい。

ページ	用語	件数	理由区分	理由
13	精度管理	3	分かりにくい理由	具体的な概念の定義がはっきりしない。数式化が出来るとう良いが。 「均一な検体から得られた複数の試料を繰り返し分析して得られる一連の測定値が、互いに一致しているようにすることで」の文章中「しているようにする」というのが不明。 全体の意味がよくわからない
18	食品添加物	3	要望・提案	添加物の量の多さ、複合的に体に入ったデータがほしい。 国で許可されている添加物名はどれ位で、どのようなものか知りたい。
			その他	もっともっと身近なことなので……かんがえていく必要。
46	新開発食品	3	要望・提案	例が必要。
			その他	一般的に新しい食品を作った時、軽く使われている新聞や広告で良く見かける言葉だが、食品安全委員会がこの言葉を想定している様には一般に考えられていない。 遺伝子組換え食品は新開発食品ではないのか。
47	栄養機能食品	3	分かりにくい理由	「栄養素の機能」の「機能」が解りにくい。（栄養機能食品そのままの感じ） 特定保健用食品やサプリメントとの明確な違いがわからない。
			要望・提案	いわゆる健康食品の多さに比べ、この欄があまり簡単。具体的な表示があってもいいのでは。利用者がとても多いので。
48	サプリメント	3	分かりにくい理由	説明不足でした。
			要望・提案	コンビニで売られて手軽に利用している時代。特に若者の摂取が気になります。もっと詳しく。 ちまたにあふれているサプリメントについて、それぞれについて、記載できないか。（別冊など）
53	食育	3	分かりにくい理由	長い文章であり、難しすぎる内容だと思う。食育とはもっと身近なものであり、簡単なものでないと受け入れられないと思う。 食育という言葉がよく使われている。人それぞれの食育があると思う。4行でまとめるのは難しいと思う。（健全な食生活を実施することができる人間を育てること」もう少し詳しく。）
			要望・提案	食育基本法の内容についての説明がほしい。
1	ハザード	2	要望・提案	一般的な生物学的、科学的、物理的だけでなく、具体的な要因例をあげてほしかった。一般消費者には分かりにくい。 文章中で使う時にそのままでもなく、日本語のわかりやすい言葉にかえられると、意味がもっと明確になると思う。
1	リスク分析	2	要望・提案	リスク分析がリスク評価、リスク管理およびリスクコミュニケーションから成り立っていることについて、もう少しわかりやすい説明をしていただけたらと思います。
			その他	何回か読み直しても内容が難しい。
2	評価	1	要望・提案	科学的評価が理解されていないことが多い。基準と条件があることを明示してほしい。
2	リスク評価	1	その他	よく使われる「評価する」という言葉だが、わかったようで、漠然とする言葉で読み流してしまうように感じる。
3	耐容週間摂取量	2	分かりにくい理由	説明の内容と表現との間に開きがありすぎる。
			要望・提案	用語名を耐容摂取量として、耐容週間と耐容一日摂取量を入れるとわかりやすい。
3	耐容一日摂取量	1	分かりにくい理由	一日摂取許容量(ADI)との違いが不明確。
			要望・提案	用語名を耐容摂取量として、耐容週間と耐容一日摂取量を入れるとわかりやすい。
4	安全係数	2	要望・提案	ADIやNOAELと辞書内に載っている言葉であれば、例え隣のページでも「P,3」と書いてあると親切。 具体的な例があげられているとわかりやすいと思う。
16	μg、ng、pg	2	分かりにくい理由	微量の数値単位らしいのですが、日頃使う事がないので難しいです。
			要望・提案	17ページの表1、表2を前ページ(16ページ)の参考と入れかえると、説明書きがよりわかりやすいのではと考える。
23	残留農薬	2	分かりにくい理由	上から2行目の代謝物の具体例をあげてないので、どのようなものかわかりにくい。
			要望・提案	平面的解説である。誰がチェックし、監視体制や罰則にもふれて欲しい。国と都道府県の役割が全然記されていない。

ページ	用語	件数	理由区分	理由
20	食品中に残留する農薬へのポジティブリスト制度の導入（図）	2	分かりにくい理由	表（2つの表の違いの具体性がわかりにくい）
			要望・提案	ポジティブリスト制度への移行後の説明図につきまして、特に食品の成分に係る規格（残留基準）が定められていないものの具体例をあげていただきましたら、より理解しやすいと思います。
21	理論最大一日摂取量	2	要望・提案	「基準を設定しようとする全ての食品について足し合わせて」の文章中、「足し合わせて」の解説が必要と思われる。
			無記入	
21	（食品中に残留する農薬等に関するポジティブリスト制度における）一律基準	2	分かりにくい理由	この言葉の説明文の中の言葉（ポジティブリストetc.）を、もう一度用語集から探さなければならない。
			その他	見出し語に統一性がない。つまり日本語、和訳語、外国の語読みを妨げたもの。検索する場合、何を調べたら良いのか。
21	（食品中に残留する農薬等に関するポジティブリスト制度における）暫定基準	2	分かりにくい理由	コーデックス基準の説明がない。
			その他	見出し語に統一性がない。つまり日本語、和訳語、外国の語読みを妨げたもの。検索する場合、何を調べたら良いのか。
23	ポストハーベスト農薬	2	分かりにくい理由	残留農薬との相違が分かりにくい。
			要望・提案	説明を読むとわかるが、その表現がもっとわかり易いのがよい。
28	ウイルス	2	要望・提案	非常に身近な物でもあり、例を挙げる等で具体的に記述した方がよい。（より理解が深まると思います） 用語名はウイルスでもよいが、年配者では「ビールズ」、「ウィールズ」という人もいます。用語別の下に別名があってもいいのではないかと。
39	プリオン	2	要望・提案	構造の差を図で表した方がよい。
			その他	感染型プリオンたん白質は、生命をもっているか？ 増殖するのでしょうか？
42	高病原性鳥インフルエンザ	2	要望・提案	初めに「～発症すると致死率が100%近く、…」とあり、鳥インフルエンザは人にうつるものと理解している人が多い中、「致死率100%」が人に対してのものなのかどうか、明記した方が誤解されない。
			その他	眠ることもせず1日起きてひたすら卵を産むだけのにわとり、放し飼いにしていたら美味しい肉も卵も我々が食用できるのでは。
46	保健機能食品	2	要望・提案	保健機能食品の1つ1つの機能性を知りたい。
			その他	平成17年2月条件付トクホの創設と対処療法的な増え方をしている。健食メーカーの生産実態と消費者に対する誇大宣伝に対する売込みをみると、大きな社会問題が生じなければいいが、又その時の責任問題に大きな不安を覚える。
48	放射線照射食品	2	分かりにくい理由	取り入れた場合の影響。具体的に、日本での流通はどの辺りまで来ているのか。
			要望・提案	対象となるじゃがいもの産地・期間もあわせて記載してほしい。
49	飼料	2	分かりにくい理由	魚の名前で「すぎ」というのは、どんなものかわからない。
			その他	「安全性の確保及び品質の改善に関する法律において、飼料とは家畜など…」は養殖魚名の限定はこれでよいのか。
52	トータルリテンシブ	2	要望・提案	「遡及」はちょっと難しい単語で、加コづけで意味を説明してあると、もっとわかりやすいと思います。
				もっと簡単に表現できるように思う。
64	水道法	2	要望・提案	数値的な定め等の記載があればいいと思う。例、残留塩素濃度地下水を使用する場合の関連も記述してほしい。
1	リスクコミュニケーション	1	分かりにくい理由	日本語の訳は？（何となく分かるけど...）
3	許容上限摂取量	1	分かりにくい理由	所要量などの表と共に併せてあると、「1日当たり」ということがわかるが、単独にこの文章だけでは「1日当たり」とはわかりにくい。他の項目は「1日当たり」と書かれてあるが、これは書かれていない。
3	許容量	1	その他	毒性のところでも例をあげていますが、許容量や摂取量も例をあげて、説明してもらいたい。

ページ	用語	件数	理由区分	理由
4	不確実係数	1	要望・提案	安全係数と同義であっても、とらえ方が異なるのだから、説明がほしい。
4	無作用量	1	分かりにくい理由	P.3の「無毒性量」とのちがいがわかりにくい。
4	レバダー	1	要望・提案	例をあげて説明してほしい。
5	容量・反応評価	1	分かりにくい理由	図表がわかりにくい。
5	リサーチ	1	要望・提案	科学的な「問題」を理解するより、科学的「記事」、「情報」ではないであろうか。
6	危機	1	その他	不要だと思います。食品に関する事以外でも普通に使用できると思われます。
6	危機管理	1	要望・提案	具体的事例、食品の安全に関しての具体例がほしい。
8	急性毒性	1	分かりにくい理由	被験物質は何か。急性毒性徴候の意味。
9	世代生殖毒性試験（繁殖試験）	1	分かりにくい理由	継代、複数世代等。意味を獣医師だからわかるが、普通の主婦には難解。
9	慢性毒性試験	1	分かりにくい理由	被験物質、毒性影響等。意味を獣医師だからわかるが、普通の主婦には難解。
10	変異原性試験	1	要望・提案	3行目までは理解し易いが、それ以下がもう少しわかり易いとよい。
11	遺伝子改変動物	1	要望・提案	「トランスジェニック動物」が良い。言葉通りですが、直接すぎて、有用性を理解される前に拒否されるように思うから。
11	E-As試験	1	要望・提案	P.14に「スクリーニング」の用語解説があるということ、P.11の解説文章中に注意書きを入れるか、マキグをして、より使いやすくしてほしい。
12	インジェクション	1	分かりにくい理由	常に使っていないので、実感が出ない。
13	疫学（的）調査	1	分かりにくい理由	参考の部分が全くわからない。
13	有意水準	1	分かりにくい理由	文章だけではイメージできない。表も記入してほしい。
14	酵素	1	要望・提案	酵素の働きや、どんな物に含まれるのか、もっと知りたいと思った。自然食品の販売でよく酵素が売られていて、わけのわからない物の一つになっています。
15	ウスタブロット法	1	分かりにくい理由	BSEの検査をした事がないので、実感が出ない。
15	加マトグラフィー	1	分かりにくい理由	種類をあげられているが、特徴、違いがわからない。
19	推定一日摂取量	1	分かりにくい理由	「暴露評価方法の一つ」など全体文が難しい。意味を獣医師だからわかるが、普通の主婦には難解。よくモニターから質問あり。
22	キャリーオーバー	1	要望・提案	「……呼ばれ、表示が省略される」の文章中、「表示は省略することができる」或いは「省略しなければならない」か等の表現を明確にした方がよいと思われる。
24	アジユバント	1	分かりにくい理由	解説が分かりにくい。
25	化学物質	1	その他	とてもよく聞く用語ですが、ほとんどの人が正しく理解してないと思います。専門的すぎて、ほとんどの人が理解できない。説明もしにくい。
25	器具・容器包装	1	その他	不要だと思います。子供でも理解できるのでは？
25	薬剤耐性	1	分かりにくい理由	薬剤耐性でVRE、MIRSAの記載がありますが、何故この両方が掲げられているのか、その重要性が理解しにくいように思う。
26	汚染物質	1	要望・提案	もう少し詳しく書いてほしい。
26	ダイナソク類	1	要望・提案	もう少し詳しく書いてほしい。
27	生物濃縮	1	無記入	
28	微生物	1	要望・提案	非常に身近な物でもあり、例を挙げる等で具体的に記述した方がよい。（より理解が深まると思います）
30	カビ科真菌	1	要望・提案	「カビ科真菌」と「その他のカビ科真菌」と2つに分けないと内容が書きづらいでしょう。
31	ボツリ双菌	1	要望・提案	ボツリ双菌E型とAB型は特徴が違うので、2つに分けて、やや詳しく書いて頂けると助かります。
34	ヒメ	1	分かりにくい理由	芽胞という言葉は、一般には理解されにくいと思う。別途、解説が必要かもしれない。

ページ	用語	件数	理由区分	理由
38	BSE	1	要望・提案	日本の感畜24頭、英国の18万4千頭の違いを危険度において一緒にしている。日本の安全性を出すべき。
42	交差汚染	1	分かりにくい理由	「食品の下処理」はどんなことを意味しているのか。
42	リンク	1	要望・提案	「など」の言葉が多く、意味は通じるが読みにくい。「など」とせず、加えてくって説明する方法はどうでしょうか。
52	コンプライアンス	1	要望・提案	聞きなれていない言葉で、具体的例があれば。
52	リコール（食品回収）	1	分かりにくい理由	実際の食品回収には危害のおそれのない回収も多く、リコールと事業者の自主的回収が混同されるのでは？
54	原料原産地表示	1	その他	主な原材料とは、原材料に占める重量割合が50%以上のものをいう。となっているが、50%未満であれば全く表示されないことになるので、40%が国産でない原料が含まれていても、残りが国産であれば表示は国産となることへの不安。
59	食品安全モニター	1	その他	もっともっと人数を増やし、生きていくためには食は一番重要なことだと常々思っている。
62	健康増進法	1	要望・提案	詳しい説明がほしいです。
66	農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律	1	分かりにくい理由	文章表現の仕方がまわりくどく感じ、分かりにくい。
66	肥料取締法	1	分かりにくい理由	文章表現の仕方がまわりくどく感じ、分かりにくい。
66	薬事法	1	その他	用語の意味は理解出来ませんが、変化の早い時代に半世紀も経過した法が適用するのか、又修正されてきているのか。
67	国際・国内機関に関する用語	1	要望・提案	組織図のようなものがあるといい。
74	独連邦食品・農業・消費者保護省	1	分かりにくい理由	海外の機関等、実際の食生活に直結しないので、あまり理解しにくい。
79	消費者の部屋	1	要望・提案	これは気づきですが、紙面に余白があるので、メールアドレス等書いてあれば、利用しやすいと思う。



問7 そのほか用語集について、実際に御利用いただいた際にお気づきになられた点や御意見などがございましたら、回答欄に出来るだけ具体的に記入してください。

1. 利用した意見

(1) プラス意見

<p>今回初めてモニターになり、初めて聞く用語が多くありましたが、活用させていただき、わかり易く説明されていると思いました。</p>
<p>昨年夏、市主催のバス見学ツアーに参加し、無農薬栽培農家、多種の農機具を揃え、大きく農業経営されている農家、農機具工場を見学して来ました。今まで、活字の上でしか、知らなかった事が実際に見聞きする事によって理解が出来ました。例えば、ポジティブリスト制度の導入によって、農機具を改造。その事から農薬をドリフトする時の飛散距離が大幅に縮小された事。ポジティブリスト農薬の使用に当たっても、用語集を活用しながら理解が出来ました。専門用語が沢山あり、高度ですが時々用語集を開いては役立っています。</p>
<p>用語については、適確にその内容を説明してあると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語と英語の両方で名称が書かれているのはよいと思う。</li> <li>・HPのアドレスが書いてあるのも、詳しく調べたい人にはよいと思う。</li> </ul>
<p>用語の定義を確認する場合、役立っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リールの用語について、よく理解していなくて、この資料により意味がわかりました。この用語は食品回収以外に、先日、瞬間湯沸かし器の事故が多発している中で、これに関連する会議の時にも使われていました。</li> <li>・食育の用語について、私の身の周りでも語り合っていますが、あまりにも大きいテーマで子供だけのこと？、いや大人もよ？、年寄りも？といろいろと話されましたが、用語集の文で全て把握することが出来ました。</li> </ul>
<p>パワポの検索でたいがいの意味は判る。網羅すると、用語集にすると、膨大になるので、この位が手ごろで良いと思う。</p>
<p>料理教室で市民センターや公民館等に行った折り、その時のニュースになっていることについて(例、BSE、鶏インフルエンザ、遺伝子組換え食品...)、質問がありますので、用語集を参考にしています。だいたい解りやすく書いてあります。又、モニターからの報告も役立っております。</p>
<p>全体的には簡潔で分かりやすい。</p>
<p>目次では、各分野等に分かれているし、区分がわからない時は、後方の索引から50音順に見ていけば良いので、探しやすく、使いやすいと思っています。内容の説明もわかりやすく、又、図表などで簡単明瞭で良いと思います。</p>
<p>1つ1つの用語が簡潔でわかりやすく解説してあるので、信頼できる用語集として使用している。次々に出てくる用語も改訂版で追記されるので、安心して使用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野以外の用語(説明)にも接し、楽しく利用しています。</li> <li>・全体的にやさしい言葉でわかりやすく解説しているので、活用しやすいです。</li> <li>・用語集が増えることを楽しみにしています。</li> </ul>
<p>毒性試験全般において、具体的試験法の記述は無いのですが、大変理解しやすく、一般の方に説明しやすいです。</p>
<p>目次はテーマでまとめてあって見やすいと思います。索引もあって検索もしやすいと思います。</p>
<p>大変わかりやすくまとまっており、広く国民に周知すべきだと思う。これだけの資料を一部の人しか手にしていないのは、非常にもったいない。</p>
<p>各用語を必要最小限に解説してあり、内容も解りやすいと思います。</p>
<p>わかりやすく解説されていると思います。</p>
<p>利用の範囲では満足しています。</p>
<p>食品安全に関するリスクコミュニケーションに参加する機会があったのですが、この用語集を読むことで、一定の知識を得て臨むことができ、大変役立ちました。</p>
<p>用語集となっている点で大変使いやすく、参考として使用させて頂いています。内容もわかり易く、信憑性も確かだという所で利便性が高いので、追加分の用語集においても同じ様に作製していただければと思います。</p>
<p>索引にはアルファベットの略称でも検索できるようになっているので、検索しやすい。</p>
<p>読みやすく分かりやすくまとめられており、一般向けに使いやすいと思いました。</p>
<p>字が大きくて読みやすい。</p>
<p>用語の解説はわかりやすく、コパ外にまとめられていて、非常にいいと思います。単に関係者の参考資料に終わらせるには、おしい気がします。一般向けに(も)出版可能なように思います。</p>
<p>わかりやすいので、問題なし。</p>

<p>ニュース、新聞等で知っていても、内容がはっきり分からなかった用語について、解説していただいてありがたい。ADI、ポジティブリスト、キャリオーバーなど、専門家にとっては当たり前の言葉でも、実際、用語集で確認して初めて納得できたことも多数あった。モタでなくとも、入手できるとありがたい。（改訂版を...）</p> <p>複雑多岐な用語がよくまとめられていると思う。小生の場合、掲出されている用語を核に、関連語を調べる参考とさせていただいています。又、インターネットのサイトによっては真偽が定かでないものもあり、その際の判断材料ともなっています。</p> <p>目次での分類はうまく分けられており、探しやすいです。</p> <p>現在のままで充分だと思います。</p> <p>わからない用語が出てくると、ネット検索して調べることが多いのだが、ネット上の情報は誤ったままのものも混在しており、きちんとした用語集があるととても助かります。国際・国内機関に関して、これだけまとめられたものは、ふだんにすることがないので、貴重だと思います。</p> <p>用語集については、簡潔にわかりやすく解説されていると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紫斑、倦怠、嘔吐など、一般になじみがうすい語句にはふりがなをしてあるのがよい。</li> <li>・索引もあり利用しやすいと思います。</li> </ul>
--

## (2) マイナス意見

<p>近年の傾向なのでしょうが、<b>カタ</b>言葉が多すぎて理解するのにやや手間がかかります。特に会議形式、統計的な分野に多く思いました。</p> <p>なんだか刈刈に欠けた冊子という印象がある。いまひとつ何度も手に取る気にならない。コバ「外なサイズ」なら、台所の隅にでも置き、気になる言葉を食品の外装等で見た際、調べようと思えるのですが....</p> <p>問5でも記載させて頂いたが、よく似た用語（栄養機能食品と特定保健用食品、ISO9000シリーズとHACCP）の違いがわかりにくい。 ・一般的な用語（日常でも使用する「飼料」や「肥料」）とそうでない用語（リソリア等。）が1つの用語集にまとめられており、用語のバールの差が大きすぎる。</p> <p>用語集について食の安全性に関する範囲になっているためか、もの足りません。</p> <p>解説が簡潔すぎる箇所がある。例えば、世界保健機関(WHO)の行っていること。（伝染病対策、保健衛生統計、保健・医療に関する種々の基準づくりなど）まで入れた方が分かりやすくなると思います。</p> <p>説明文の書き方で、文章が長すぎてわかりづらい部分がある。</p>
--

## (3) 要望

<p>横文字「バード」などあまり一般的ではないものがあり分かりづらい。1ページにバードの説明（危害要因）と書いてあるが、それならすべての「バード」を危害要因と書いた方がいいのではと思う。</p> <p>表やグラフ等をいれて説明書きを入れると、より詳しくわかるのではないだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表紙の紙をもう少し厚いものにして、手に取った時、しっかりした感じになるようにしてほしい。</li> <li>・表紙の字が硬いイメージなので、字体を変えたり、行ストを入れて、思わず手に取ってみたいくなるようにしてほしい。</li> <li>・表や図を多く取り入れてほしい。</li> <li>・A4版よりB5版の方が扱いやすい。</li> </ul> <p>用語集がA4版であり、もう少し小型（A5版位）の方が携帯するのに便利。</p> <p>いわゆると言う言葉は使うべきでない。公文書で表現し、まぎわらしい言い回しで混乱してしまう。かつていわゆる狂牛病等、混乱の原因になってしまう。公文書の通りにすればよい。</p> <p>食育基本法が施行されたので、その内容の記載があると良いのではないだろうか。</p> <p>理解はできるが、難解な言葉もあり戸惑うことがあります。例など多くしていただけるともう少しわかりやすくなるかと思えます。</p> <p>カラーを使ったものにして、大事・要点を赤にするなどしてほしい。</p> <p>色や図を入れて欲しい。大きさをコバ外に。</p> <p>前記しましたように用語の説明文の中に用語集から探さなければならない用語がかなり用いられているので、せめて、説明くらいは一般的に使用されている言葉を使ってほしい気もします。外来語(カタ)ではなく、日本語で。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に書き方が統一されていない感があります。「 とは」としてページがあったり、なかったりしていますが、お書きになる方が多数の方だからでしょうか。なるべく統一してください。</li> <li>・解説上、しかたがないのかもしれませんが、1つのセテツが長すぎて、読みにくい部分が多い気がします。P.30~36のように、&lt;特徴&gt;、&lt;対策&gt;などと細かく分けてきていただけると、読みやすいと思います。</li> </ul> <p>最大公約数的な解説を目指されているのはよくわかりますが、説明する側と説明を求める側のギャップを感じる。説明したい内容と知りたい事が一致していない感が強い。たとえば「用語集」そのものをネット上に置き、トップページに、食品安全委員会が説明したい内容のものを置き、そこを読んで、もっと詳しく知りたい人や業界人や専門職の方向けに、さらに詳しい説明を2階層位に分けて用意をし、また逆にあまり詳しくない方や子供達向けに、より優しい言葉や詳しい説明を用意することで、求める側の欲求をより満たしやすくなるのではないだろうか。</p> <p>一般市民向けでなければ、かみくだいて分かりやすく書かなくてもよいのでは。</p> <p>全体的に写真など入れるとよいと思います。</p>
--

<p>食品汚染の検査法の一覧みたいなものがあると説明の時に分かり易いと思いました。例えば、理化学機器分析（LC-MS、GC-MS、ガス相、液相、薄層相）、バイオテクノロジーを用いた分析（迅速簡便法）（ELISA、酵素阻害反応、バイオッセイ、DNAグループ）、バイオテクノロジーを用いた機器分析（PCR、自動培養分析）</p> <p>「公正マーク」や特定保険食品のマークなど、一般消費者の目につきやすく、何だろう?!と思えるマークを活用してほしいです。私のような一般消費者には、用語集の言葉もe-メールがジーンも難しく感じられます。メールがジーンのものも、キッホッス程度の表現が理解しやすいです。用語集の説明も一文が長くて、4行5行に渡っています。説明は簡潔に、文章を短く区切って頂けると助かります。用語集字体は一家に1冊あると大変便利なものであり、何か不明な事象があれば調べる事ができます。用語集が学校や家庭に普及すれば、もっと食品について理解を深めようとする人も、興味を持って食べ物に関わる人も増えると思われれます。</p>
<p>加印刷、太文字等を加えると読みやすい。</p> <p>用語名称に英語訳があるものとなないものがあります。日本の法令名称や法令で使用されている語句に英語訳のないものが見受けられますが、各省庁のWEBサイトの英語版には、英訳があると思しますので、付けていただくと良いと思われれます。海外の方への説明や、海外の規制との比較をする際に、正しい用語による説明や理解に役立っていることができると思います。</p>
<p>用語が少ないと思います。辞典としては不十分で使いこなせません。もう少し、小さくして、（全体も文字も）、量を多くして欲しい。携帯できる物ものを希望します。</p> <p>用語集の用紙サイズ。iPadに利用しやすくするには、版型をB版としてB6版とされると良いと思います。</p> <p>全ての項目について説明が不足していると思う。ターゲットは食品の専門家でない一般消費者のレベルとしてほしい。用語集はモニターや食の専門家をターゲットとせず、一般の消費者に理解してもらえるレベルである必要があります。本来、この用語集は、我々モニターレベル対象でなく、モニターや食品の専門家が消費者に説明するための資料として使用して、もっと消費者が充分説明出来る「ことば」であって欲しい。出来れば、消費者一人一人が手元に置いて、安全安心の手引きと出来るのが理想と考えます。手引きだけでなく、メディアを利用して強力に発信する以外に浸透は計れないと思います。</p>
<p>P.92の「アルファベット等」をABC順の全ての用語の索引にする。</p> <p>問5にも記しました。現段階のように用語数が少ないうちは問題ありませんが、何か統一性のあるある見出し語が欲しい。各種学会に専門用語委員会があり、用語集があり、また常に検討しているので、各種会合と相談したらどうでしょうか。</p>
<p>正直、あまり使用する機会はありませんでした。そのため今回の調査の目的に沿っているか少々不安です。使用しなかった1番の理由は、ネット検索の方が手早く、分かりやすいためです。また、分からない用語にでも、次々と検索できるからです。最新情報を検索することもネットです。言葉の説明だけではネットの方が優位と思われれるので、より特徴のある用語集（印刷物）にする必要を感じます。</p>
<p>1.電子ベースで検索できる状態で「用語集」を提供してはどうでしょうか。 2.用語の質問を受け付けるフォームを作って、解説の改訂や新語の登録が出来るようなシステムにしてはどうでしょうか。</p> <p>これはある程度、専門的な知識のある人を対象として作られていると思われるが、一般向きのこのような資料がほしい。普通の主婦でも手軽に利用できるようなものを希望する。</p> <p>用語集の内容とは無関係ですが、もう少し大きさを小さくした方がより持ち運び易いと思います。今のサイズだとなかなか持ち出せないのです。</p> <p>食品の安全性に関する用語集ということで、各自自治体で監視指導計画の最後に計画案に出てくる用語を添付しています。パブリックコメントを募集するときなので、細かく多くつけるわけにいかず、そのものの説明はあっても、その説明に出てくることばがわからないという状況がおこっています。用語集をすべて添付できないので、しかたがないかなと思います。また、わからないことを聞くということも、聞く人も答える人にとってもより理解が進むので、このままの状況でより充実していただければと思います。</p>
<p>この用語集のほとんどが大変むずかしい用語ばかりのため、読んでも説明する言葉を又、これはどんな意味かなと本をめくることが多く、私は特に主婦なので日常的に身につけていない言葉が多いので、仕方がない。ノウハウについて大変流行してしまった時、読み返してみたが、本当に用語の説明であったが、0157が流行した時のことがあったので、もっと納得できるような流行に対する対策が盛り込まれていないのが不満であった。ビデオで注意して下さいと報道はするものの、この役を与えられている私達は何を皆さんに伝えたら良いのかわからない。何か自然に流行が治まるのを待つ。そして治まったけれど説明はそれだけで良いのだろうか、大きな流行につながる物については、＜対策＞を国民に向けてのメッセージを入れてくれると納得し、友人、まわりの人達に話しやすいと考えています。</p>
<p>分野別の記載も良いのですが、50音になっているのもっと利用しやすいと思います。</p> <p>用語集は仕事や日常の様々な面で使う時がありますが、主に用語の意味を理解して、人に伝える際に利用しています。その用語が専門的であるほど、どんな場合に用いるのかを詳しく書いていただけると幸いです。</p>
<p>特にありません。業務上、この程度の理解がないと仕事になりませんので、総論的な内容で使われる用語より、各論的な部分で使われる専門用語も多く掲載されてはいいかがでしょうか。</p> <p>平易な文章で解り易いのはいいのですが、もう少し深く踏み込んで専門的な記述にしてもよいのではないのでしょうか。今冬、大流行したノウハウによる感染性胃腸炎や又、ヒトに感染はしなくて良かったが、鳥インフルエンザについての詳しい解説が欲しい。「食品を介してヒトに感染する可能性はない」としているのですが、万一、ヒトに感染した場合、ヒトからヒトへの大流行が想定されるのではないのでしょうか。この点の記述も追加すべきだと思います。</p>
<p>BSE検査のライザ法、ウスタブロット法がありますが、もう少し検査法の説明と2方法の利点、欠点について書いてほしかった。ライザ法で陽性の場合、ウスタブロット法による検査であります。免疫組織化学検査、病理組織学的検査方法について知りたい。</p>

<p>・章あるいは項目ごとにも参考資料・サイトの紹介があると良いと思います。</p> <p>・「1-2 リスク評価」の項は簡単に過ぎます。リスクのモノサシ（中谷内一也著）的な表現で、食品の安全性にかかわるリスクの事例を紹介すると良いと思います。</p> <p>・「5-19 アレルギー反応」の項は「食物アレルギー」を見出しとした方が用語集の趣旨に合うと思います。また重篤な症例などを紹介すると良いと思います。</p>
<p>参考ウェブサイトを国際、国内機関に関する用語の項目のように、各期間の説明の下に載せてほしい。</p>
<p>用語の中には専門的なものもあり、すんなりと頭に入らない。一般の人にも理解しやすいように説明は平易な言葉で表現してほしい。国内機関は電話番号、メールアドレスも併記してほしい。</p>
<p>紙に印刷して配布するメリットがあるのでしょうか？ PDFファイルにして誰でも使えるようにしておけばよいと思います。</p>
<p>友人よりBSE、コウバエ、ノコギリ等報道されると聞かれ、それに答える為に利用させて頂きますが、一般主婦家庭人に対して簡単でわかりやすい説明が良いと思います。研究者向けの高度な説明では主婦には理解できません。</p>
<p>とてもわかりやすく丁寧に書かれていると思うが、P.70~75の部分で各機関の説明で、横文字が多く、年齢が上の方などは目が疲れるのではないと思う。意味がわかれば細かい補足はいらないように思う。なるべく図や表を使って見てわかりやすいものにしてほしい。特に、化学の用語などは知らない人が見てもわかるようにしてほしい。</p>
<p>今回の質問の内容とは違うかもしれませんが、用語集にある「独立行政法人」にあるセンターや研究所について、成り立ち、内容等、だいたい書かれているが、何か中途半端さがあるので、もう少しその機関の必要性がわかるように説明してはどうですか。又、何をしているかよくわからない所もあるような感じがする。</p>
<p>具体的に問題となった事例などを簡単に記載して頂くと、よりどのようなものなのかが想像ができ、わかりやすいと思います。例「 年 月頃 で起きた---事件」。</p>
<p>用語集の特性上やむを得ない事ですが、ビジュアルに欠ける点は否めません。できれば、速報のような形でお知らせ頂けると有難く思います。（メール速報等）</p>
<p>・例示があるとよりわかりやすいと思う。</p> <p>・独立行政法人の説明は要らない。（もっと簡潔にしてほしい）。</p> <p>・食中毒の種類は一覧表にしてほしい。（見にくい）。</p>
<p>輸入食品の多い日本にあってグローバル化の発展はより一層新しい品目や加工品は増加し、それらの生産、加工、輸送などの各段階に使われる薬品に関する用語や新たな食品それ自体特有の毒性と対応に係る用語を補充してほしい。</p>
<p>用語集自体はそれなりの知識のある人が持っているのよいが、一般の人に向けて説明する時に、よりわかりやすい（説明しやすい）言い換え表現が併記されていた方がよい。例：リスク評価：その食品を食べると、どれくらい危険か科学的に評価すること。 リスク管理：リスク評価の結果をみて、その食品を禁止すべきかどうか、基準値が必要かどうか、必要ならその基準値を決めること。</p>
<p>分野が多岐に渡る為、用語の範疇をどう決めるのか難しいと思います。その時々話題性のものを積極的に取り込んでいただけたら、使う立場としては便利になりますが、出来るだけお願いします。</p>
<p>図も利用してもらえると助かる（スペースがある場合）。全体的に余白もあるのに、文字のみの説明が多いという印象がある。</p>
<p>もっと詳しく知りたくなった時にどこを、何を参照したらよいかがあると、親切な用語集になると思う。例えば「食品添加物」。子を持つ親として、もっと掘り下げて知りたいが、ばらばらな断片的な情報しか持ってもっていないので。</p>
<p>目次のそれぞれの用語はアルファ順に並べる方が利用しやすいと思う。 内容説明を補足するために、参考資料として、今まで以上に、図、絵、具体例を加え、更に加印刷の部分があると理解しやすいと思う。</p>
<p>50音順などに掲載されていると、わかりやすい（利用しやすい）のではないかと思います。</p>
<p>総じて簡単明瞭に書かれているが、難しい用語については具体例又は使用の事例などが書かれていたら、理解しやすいのではないのでしょうか。</p>
<p>「あるある」の様な番組を見た際に、より理解を深める事ができれば...と思い、活用する事があります。情報番組があふれかえる今日です。家庭内で登場しがちな、なじみある身近な用語を狭く、深く、解説して欲しいと思います。</p>
<p>・食品表示についての項目の追加。例えば、加工食品の原料原産地表示について。</p> <p>・新規食品の追加。エンサイムQ10、イソフラボン、トランス脂肪酸等。</p> <p>・新規食品の摂取注意事項について。例イソフラボン</p>
<p>もっと図表での解説をふやして欲しい。また予想される頻度を検討して、頻出順に並べ替えも（項目内で）検討すべきでは？</p>
<p>84Pに参考ウェブサイトとしてホームページが出ていますが、これを別紙にしないで、本文の紙面にそれぞれ表せば手軽に見れてもっと利用出来ると思います。</p>
<p>ある程度わかりやすいと思いますが、専門用語も多いので、他人に説明する時にわかりやすく理解して欲しいと思いますので、一寸困ることもあります。もっと具体的に例をあげてほしいと思います。</p>
<p>その用語が必要な時に用語集を出して見るのだから、もっと具体的にかつ平易な解説がほしい。解説用言語を又調べなければわからない様では、意味がないのではないかと思います。</p>
<p>今年に入って家族全員嘔吐下痢症に罹患しました。貝類による感染が主体のようにもありますが、ヒトからヒトへの感染がかなり強いことを改めて認識致しました。用語集にもその事は記述されておりますが、もっとより深く更にくわしく説明の方、解説して頂ける事を希望致します。</p>
<p>食品を購入すると表示がありますが、その表示されているものも用語集の中にあればと思います。</p>

<p>先日の事ですが、某コンビニエンスストアのCMにて「当店の食べ物の中には、食品添加物等は使用されていません」というものを耳にしました。早速、食品添加物欄(P.17)を参照しましたが、知りたい情報までは記載されていませんでした。その後、そのCMは耳にしなくなりました。(あれは夢だったのかも思いました。)</p> <p>すべてが手作りとは、実際、家庭で食事を担当している者として、非常に難しいと痛感している所ですが...。ということで、食品添加物の項は、充実をお願いしたいと存じます。特に基準値の表記も記載していただきたいと思います。(具体的には、合成の着色・甘味・保存料、防かび剤、発色剤は掲載をしてもらいたいと考えます)</p>
<p>一般消費者が日頃あまり耳にすることのない難しい言葉は載せなくてもよいと思う。テレビ・新聞等でひんぱんに出てくる用語を載せていけば充分だと思う。</p>
<p>内容については改訂の都度、充実してきておりますが、用語集の体裁を辞書形式に良くして欲しい。小さくして持ち運びが便利な様にすると、用語間の区切りが無く見にくいので、線で明確に仕切って見やすくして欲しいと思います。用語集の内容の充実に合わせて、利便性について使いやすい用語集にされる事を希望します。</p>
<p>生物系分野に関する用語の中で、各々の菌の説明がありますが、これらについて出来るだけ菌の形態がわかるように加-写真をつけてほしい。例えば、ボツリ双菌の加-写真を入れて形態、性質等説明してもらいたい。</p>
<p>用語の説明が簡単すぎるものと詳細なものがあり、もう少し統一して欲しい。</p>
<p>全体に、写真や具体例を入れる余地があると思います。とにかく、新情報を取り入れた食品安全用語集は貴重で得難いものと思いますので、ぜひ引き続き定期的に改訂版を発行し続けていただきたいです。</p>
<p>6-5保健機能食品、6-6栄養機能食品、6-7特定保健用食品について消費者の関心が一番高いと思う。質問されて、それなりに話す理解されているかどうか。恐らく納得はしていないようだ。いわゆる薬品との差のすっきりした表現がほしい。そして過剰摂取にまでいくと、わからないことばかり。もっと理解しやすい表現を待つ。</p>

#### (4) 疑問点

<p>改訂版については大変理解しやすく、複数冊ありますので、知人にも利用して頂いており、便利で助かると言われております。内容については、自分も含め個々人のレベルが全て異なりますので、これで充分の人であれば、関心の強い分野についてはより多く記載をとの要望もあり、際限がなくなるのでは...とも思います。P.19の「ポジティブリスト」について、次ページの制度導入後の流れの図表を入れて頂いたことで、大変理解しやすく、参考になりました。同様に、諸外国における一律基準値の設定状況を付記された点も、とても助かります。</p>
<p>「リスク評価」の件ですが、リスク評価結果を基に食品に対する行政管理が行われ、様々な安全衛生基準が定められていると思いますが、「リスク評価」とは、存在する食品リスクそのものを個別に科学的に評価する範囲に止まっているのか、それとも食品それぞれの性状や流通販売状況を加味した評価となっているのでしょうか？ と言うのも、食品はより安全で衛生的であることに越したことはありませんが、乳製品、冷凍食品等、所詮、加工流通食品等を飲食店や総菜店等で供される食品の間には食品リスクにレベル差が有る様に思うからで...加工流通食品に於いては、殆どの場合、大腸菌、大腸菌群は陰性でなければならず、モリウグン検査等で検出されると回収になりますが、寿司、刺身、飲食店で供される食品は、どう見ても、これらの基準をクリアしているとは思えません。「リスク評価」と「食品衛生基準」との関係について、教えてください。</p>
<p>用語集自体が「一般消費者」向けなのか、「ある程度食品に対する知識を持つ者」のためのものかわからないことが多い。</p>

#### (5) 様々な意見

<p>用語集に出ている用語が追加用語だと、とてもわかりづらいです。用語の数も多く、全部を理解するには、困難な面もあります。しかし、賞味期限と消費期限の違いがわかり、遺伝子組換え食品、BSE、ノロウイルス等、身近な事を理解するには、とても有効でした。又、残留農薬、ポストハーベスト農薬にも理解を深めることができたので、良かったです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・索引や英語表記で、参考資料、参考ウェブサイトなどが書かれているので、Web辞典のような感覚で、食品安全に関する用語を調べられるのは便利である。</li> <li>・ただ、分野別に、用語の説明がわかりやすく感じる分野と、わかりにくく感じる分野があるようである。私が持っている知識によるところが大きいのかもかもしれないが、この用語集がリスクコミュニケーションのための有効なツールとなるためには、どの分野も平均的に理解される内容になるのがのぞましいと思う。</li> <li>・また、「食の安全性」に関わる用語は、日々、社会や人々の関心などの移りかわりにより、増え続けていき、その反面あまり話題にのぼらないものも増やしていくと思う。年代別に取り上げられた用語を整理し、伝えていく試みも必要ではないかと思う。</li> </ul>

<p>とてもわかりやすく、ｽｽﾞﾐｱから発信される「単語」を詳しく調べたり、確認するのにとても役立ちます。食中毒に関する菌の比較表があると、よりわかりやすく、便利かと思われました。（一表にまとめてあるとわかりやすい）この冊子が「食品安全ﾓﾀｰ」をさせていただいた折にいただきましたが、「食」に関心を持つ者として、大分知っていたつもりでしたが、忘れていたり、思い出したりと、とても勉強させていただきました。「食」と「医」のつながりの深さ、大きさを子供を育てる親をはじめ、社会生活を送り始める幼児期から、教えていく必要性を強く強く感じております。一般の主婦であっても、安全な食品を食卓にのせるため、このような冊子を配布したり、勉強会を開催したりして、誤った情報を見極める力や冷静な心を持って製品・食品を選択する力を一般に浸透させてほしいと強く希望しております。公的機関の積極的な取組を期待します。</p>
<p>どんどん新しい用語がでてきているので、用語集についてとても役立っています。改訂の頻度などもう少し期間を短くできるといいと思います。</p>
<p>臨床的な又は専門的なｶﾀｶ文字がききなれていない場合に理解しづらい。新聞や報道(ﾚﾋﾞ等)され、頻繁に”耳”にすれば理解しやすい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸入品に多いｽﾄｰﾊﾞｽ農薬について、以前は店頭で表示義務に基づいて表示されていたが、最近ほとんど見ることがなくなった。（ふだん利用している3店舗で）。義務化が解除されたものか？</li> <li>・残留農薬の項目では、食品衛生上の危害を解除～販売禁止の措置がとられる等と記載されている。（残留農薬基準）。この様に消費者にとって、安心できる説明記述がなされているとうれしいと思う。</li> <li>・SPS協定を探するのに、「S」でも「E」でも見つからず。ｱｲﾃﾞｵ順、ABC順など、まだまだ見つかるのに苦労しています。</li> </ul>
<p>専門職でありますので理解できますが、専門職でないﾓﾀｰの方々に、不足する（言葉足らず）用語（解説中の）、不適切な用語があると思います。私見ではありますが、内分泌かく乱因子（物質）を以前から”環境ﾓﾀｰ”と呼称したり、かなり多く用いられておりますが、”ﾓﾀｰ”の定義からして環境ﾓﾀｰなどと呼称、使用することは不当と以前から考えております。あくまで、ﾓﾀｰとは身体無い物質であり、内分泌機能をもつものであります。内分泌かく乱因子（物質）と表示すべきであります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物系分野の用語で、特に食中毒の原因になるとみられる細菌類について、細かく記載されているのが良いと思う。</li> <li>・多くの公民館には料理教室があります。公民館や図書館にこの「用語集」を置いたら如何でしょうか。一般消費者への啓蒙になると思います。一般消費者のｲﾝﾌｫｰﾐｪｰｼｮﾝが、事を未然に防ぐことになるし、例え、事が起こっても大きな混乱を招くことはないと思われます。</li> </ul>
<p>目次は関係する用語ごとにまとめているところと、あいうえお順にしてある所がとても良いです。内容は専門的な用語が多く出てくるので理解するのは難しく、他の人に説明するときに、上手くできません。用語も多いので、理解する時間がかかります。最近では生活の中で活字が多く、このようなﾓﾀｰの用語集も、もっとわかりやすく、理解しやすいものにするのもっと良いと思います。（ｶﾀｶなど使用してみても、見やすくなると思います）活用も辞書のように多くなるのではないかと思います。長く使用していけたらと思います。</p>
<p>全体的に説明が専門的で難しく感じました。自分の知っている分野や、ﾚﾋﾞ・新聞等でよく目にする用語については、だいたい理解できますが、まったく知らない用語の中には、その説明の中に理解できない言葉が使われていて、全体の意味がわからないものもあつた。1ﾊﾟｰｼﾞの「ﾘﾝｸﾞ」のようにかっこ書きで（危害要因）と書いてもらえると理解の助けとなり、わかりやすいと思います。</p>
<p>1. 全般として言える事柄は、「ｶﾀｶ語」の多用、従来の日本語に無い考え方など、ｶﾀｶ表記の方が便利なのは理解できるが、これを多用すると、単語を知らない人は理解できない。そのための「用語集」ではあるが、基本として「日本語」説明の努力を払うべきだと思います。 2. 版の改訂は随時行い、最新版をWEBにup dateする。変更、加筆部分の公示をメールで。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO22000についての記載がありませんでした。</li> <li>・ｷｬﾘｰ-ｵｰﾊﾞｰがあるのに、加工助剤がないのが不思議です。</li> <li>・水銀について調べようと思った際、特に参考となるものがなかった。索引があるけれども、WEB上では検索できるｼｽﾃﾑがあるとよい。</li> <li>・ﾓﾀｰは図解がないので見えにくい。・HTMLで送ってみたらどうでしょう。</li> </ul>
<p>1. 非常に役立っている。特に自宅に置いては専門書がないので、用語集を開いて確認することが多い。もっと多くの人に役立つことを検討しても良いのでは？（例）手帳式で有料(1000円位)で普及を考えても良い。いつもで開いて利用できるのが良い。（缶詰手帳（日本缶詰協会）はこのように役立っている）</p> <p>2. 外来語が普及して、一般的になってくると、これに相当する日本語は正しくはどうなるのか、ｽｽﾞﾐで報道されると間違いも多い。このような語は詳細に説明した方が良い。（例）ｺﾝﾌﾟﾗｲﾝｽ：これは今までなら「法を守る」であるが、「企業ﾓﾀｰ」まで含めて報道されている。 欧米ではどうなのか？わからないので）</p>
<p>用語集は模範的の回答で、辞書のように使用しているのですが、今一つ、具体例など（全部ではなくとも昨今、食品の安全注目度が国民に高く、ｽｽﾞﾐ、新聞紙上でもよく目にするので）、わかりやすく図解も良いと思います。P.40、BSE牛の図くらいでもいいかと思ひます。又、誰でも知っている用語は短くていいですが、たとえば栄養士はどのような職場に配置必要なのか、そのあたりも知りたいです。（栄養士と管理栄養士の区別による職場の違い）</p>

<p>・用語集なので、辞書を引くような感じで調べたい。希望では、用語を多く載せ、目次で簡単に引けるのが良い。字はもっと小さくして良いと思う。</p> <p>・TVや雑誌などで、話題になる場合、用語集を開くことにより、申し訳ないがインターネットで調べてしまう。正確さに疑いがある時もあるが、写真や動画、わかりやすいチャート等があるので、専門家でない私は理解しやすい。</p> <p>・表示方法は、日本語の下に英名が記入してあり、丁寧で良い。但し余白が多いので、自体を半分位にし、2階は載せられるのではないだろうか。</p> <p>・絵や表を多くしてもらえると見やすい。</p> <p>・全体を読みながら、非常に勉強になりました。普段聞き流してしまっていて、わかったつもりになっている事も、改めて読むことにより、意識が高まります。「国際・国内機関に関する用語」の中にHPがあり、参考になります。</p>
<p>用語の解説は概ねこれで良いと思う。常に使っている用語は、用語集を見れば理解できる。常に使わない専門用語の中には、もう少し基礎的な解説がほしいと思うものがある。用語の数はこれで良いと思うが、特に専門的な用語の解説には、もう少し工夫が必要でないかと思う。</p>
<p>日頃から英文に精通していれば問題ないのですが、やたらと英単語の直訳というか外来語というかがカタ文字が多い。大学や仕事上で関係した専門用語は理解できても、問3で を付けた問題なども含めて、加が用語全ての解説をしたならば、多くの方が興味を持つ事ができ、多くの方々から意見が聞けるのではないかと思います。食の専門家に対するモニターならば問題ないかと思いますが、食の安全性に興味を持つ一般人に対するモニターとしては、ハードルが高い用語が多いように感じる。</p>
<p>ホームページからダウンロードできるPDF版が検索もできるので、使いやすいと思います。欲を言えば、説明文中の単語をクリックすると、この単語の説明文に飛ぶとか、加、図面、写真、動画を入れて、マルチメディア版ができるとういと思っています。</p>
<p>文字も大きく、図等もわかりやすけれど、お仕事でA4サイズに慣れていないと（行間隔も"まのび"しているような感じがするし）、A4サイズはけっこう扱いにくくB5やA5くらいにコンパクトにし、バインディング形式で増減（差し替えや増ページ）ができるものが便利かも。</p>
<p>一般的に新聞、雑誌などで扱っている用語についての説明はとてもわかりやすく、たいていは用語集で足りる。しかし用語集にのせてある専門分野に近い用語解説は少しわかりにくく、一般人には理解できにくいと思う。しかしこういう"食品の安全性に関する用語集"なるものを作成していただき、一般のモニターに配付してもらい本当に有難く思う。</p>
<p>特に変えなくてよいと思います。詳しくても簡単に広げられなくなるし、少し意味が分かればよいと思います。あとは、自分でそこからレポートなりを得手、調べることは可能だと思います。広くたくさんの用語をつかんでいくには、内容（意味など）が深すぎるとあまりよくないと思います。もしもそれ以上知識がほしい人用にとつけ加えがして頂けるならば、その調べるすべを注釈などで紹介として記載して頂けたら助かるかとも考えます。</p>
<p>用語集の解説内容に於ける文章量及び解説表現内容はこれで良いと考えます。しかしマガジンでは、用語解説文章の語句等で更に解説の要ありと判断する場合があります、そこをクリックすることにより、更に詳しい解説ページ（専門）に飛べる仕組みがあればと思います。</p>
<p>ニュースや新聞記事などで不明な言葉や、自分自身あやふやな文言があった時、確認できますので、便利でありがたいと思っています。（辞書のように使わせていただいています） 時間の経過から修正をしておいた方がよいと思われる部分があります。例P.19「ポジティブリスト（制度）」（現在）平成18年5月29日から施行することとしている。（変更）平成18年5月29日から施行された。</p>
<p>・一つの用語に対して、もう少し詳しく説明して欲しい。特に実験に関する用語など、専門的なものがわかりにくい。</p> <p>・しかし疑問に感じた時など、すぐに確認することができ、バインディング的に使わせてもらっている。</p>
<p>1. 広報について 昨年秋以来、ノウビル、鳥インフルエンザと引き続いて発生し、公民館長（友人）から問い合わせがあり、委員会から送付された資料等（原因・対策）を提供しました。（関係書類の写しを回覧したそうです） 2. 用語集の解説 全般に分かりやすく記述されており、大変参考になりました。今後、更に充実したものにされることを望んでいます。</p>



<p>1. 広報について 昨年秋以来、ノロウイルス、鳥インフルエンザと引き続いて発生し、公民館長（友人）から問い合わせがあり、委員会から送付された資料等（原因・対策）を提供しました。（関係書類の写しを回覧したそうです） 2. 用語集の解説 全般に分かりやすく記述されており、大変参考になりました。今後、更に充実したものにされることを望んでいます。</p>
<p>印刷「版」が大きすぎて、机上でみる時は便利であるが、「常時必携」として利用するにはハンドブック級がベストである。</p> <p>全体用語の「索引」的（アルファ順とか）なものと便利。特に講演などの際に、よく質問があるから急いで正確に伝えるには、索引しかないと思う。</p> <p>基礎的な用語や専門的・技術的な方法論説明がやや不足していると思う。例 病原体の種類と感染のタイプ、法律関係で消費生活に役立つ法令等の要約（俗称）があると便利です。</p> <p>遺伝子組換え（食品）技術、例えば動物、水産、植物などに分けての分類が現在ブームですが、これらの「要約等の解説」がほしいと思う。</p> <p>食品表示関係の用語、法令、実際の「販売に使っているカール」的図解があると便利だと思う。</p> <p>獣医師（いろいろの獣医師）、家畜保健衛生所、防疫員などの農林水産省関係と厚労省にまたがる用語を入れるとよいと思う。</p> <p>全体をりゃ、毒性、食品生産、輸入、流通、衛生、法令、資格、関係機関など大分類を現場的に改変できないか。</p> <p>用語集全体ページが専門用語、技術用語の平易化（主婦モニター中心程度）。モニターの中で、特に専業主婦を中心としたモニター年間くらいでは理解できない。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布先を広げたらどうか。役に立つと思う。（配布先はどこですか）</li> <li>・（ ）内で両方の呼称あるものは索引に両方記入。</li> <li>・説明文中に用語集記載の用語がある場合は、（注・P. 参照）と附記。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カナ文字の使用が多いのでおぼえにくい。出来る限り漢字、かな文字を使用すべきと思います。横文字（英語）の使用に違和感をおぼえる。（日本語を使う国民ですから）。</li> <li>・説明は簡略でよくわかります。</li> </ul>
<p>大変役立っていて、新しい情報や知識を得るのに利用している食品添加物、加工食品などの分野の情報を増やしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味深く読ませていただきました。TVのニュース等ではあまり詳しく知ることができない用語を平易に説明して下さっていると思います。</li> <li>・このような用語集がもっと広く一般の方々に見ていただける機会があれば良いのでは...と考えています。又、未来の主権者である子供達にも読んでもらえる様な、そうすると用語集ではなくなってしまうかもしれませんが、食生活にもっと関心を持ってもらえる様な内容にして子供達にも手に取ってもらえたら良いのでは...とも思います。</li> </ul>
<p>用語集、大変参考になります。1冊にまとめられました尽力に経緯を表すると同時に、この便利さに感謝しています。全般的に医学生向けにつくられた感があります。一般の人には、解説を更に解説しなければ理解できないと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人々に膾炙したものは掲載不要（例）中毒、毒性、抗生物質等</li> <li>・用語解説素人版を外に出すことも考えてください。概念的にとらえられれば伝達として充分と思います。（例）実験室ミミが死亡する一歩手前の毒性力（量）</li> </ul>
<p>カナ語が多いので、日本語名もできるだけ使う方が理解しやすいのではないかと思います。無理とは思うが、用語集である以上、最新の言葉への説明がより早くより詳しく欲しいし、又、話題になっているものはより詳しく補正されたものが必要だと思う。簡単に調べるには、食品安全委員会の電子メールの方の用語集が便利だった。</p> <p>用語集がどういう人達を対象にして作られているのか。もし一般の人達だとすると、高校生程度が読んでみずんわり理解できる文章にして欲しい。たとえば「一般にかび毒は熱に対して比較的安定」より「熱に対しては強い」と書いた方が分かりやすい気がする。用語集も特に新聞やテレビでよく目にする言葉は別に選んで、小学生でも理解できる冊子等があればと思う。その点、キッズボックスはとても良く、梓をもう少し広げてはと思う。テレビの話で恐縮ですが、NHKの「週刊こどもニュース」は結構大人も見ている人が多いとか。出来る限り、分かりやすい文章をお願いします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多方面からの用語が網羅してあります。字も大きく読みやすいです。食品安全委員会としての識見がわかり、安心して読めます。わからない用語を調べるとっかかりになります。 ・私が一番関心があるのは健康食品です。百歩ゆずって、たまには個人の体にあう場合もあるかもしれませんが、たとえば、大豆加工などを加工したものを高価で老人相手に販売したり、セミナー講みにたいに利益を求めることが目的だったりするのを聞くと、このままでいいのかと思います。特に個人で販売している健康食品はどうにかならぬかと思っています。毒にも薬にもならないもの、体に有害のもの、健康食品は根が深い問題だけどほっとけないと思います。</li> </ul>
<p>用語集はとても使いやすく、大変わかりやすいです。いつもとても重宝しています。カラー（色）をつけたり、もっと楽しいものになるでしょう。</p>



(6) 感想

<p>全体を通してわかりやすい部分とわからない部分があります。特に専門用語については、私達一般消費者には理解できないと思います。ただこれは仕方のないことだと思います。専門家には理解できるものだからです。私達には全くはじめて見る用語が多くありますが、何回か読んでうちに理解できるものもあります。</p>
<p>メルマガジンの用語集の解説はよく読んで、再度用語集で確認致して居ります。メルマガジンの用語解説の方が詳しく書かれているので、用語集の方へ書き足してみたりする場合があります。その時々でメディアで問題になったものを取り上げられて、とてもタイムリー。参考にさせていただいています。又、編集後記はいつも心あたたまるテーマにて、とてもうれしい内容と感じています。これからもよろしくお願い致します。</p>
<p>匆匆でできている用語はなかなか覚えにくいですが、漢字だと内容が理解しやすいのですが、説明は、よく読むとわかります。</p>
<p>現在、食の安全に関する情報はほとんどのものがインターネットにて、具体的内容等が得られます。地域での食の安全についてのコミュニケーションの場合、不自由を感じていません。インターネットの検索で得られる情報量は、大変詳しく多いと思っています。</p>
<p>用語集(改訂版追補)は一般的な理解や考え方で作成していただいてあり、とても参考になります。より詳しい事を知りたいと思う時は、用語集を持参し、図書館(車で片道1時間)へ行き、まとめて調べています。私事です、文書化されまして郵送していただく資料は大変ありがたく利用させていただいております。</p>
<p>インターネットで簡単に情報が入手できる今日ですが、食品安全委員会食品安全センターになったからこそ得られる、さらに深い知識を吸収できるようなツールとなることを期待します。</p>
<p>素人に読ませてみて、わかるかどうか聞いてみたら、センターに依るような人はおおよそわかっていると思いますが、これ初心者にはぜったいにわかりません。姉は文系ですが、ちんぷんかんぷんだと言っていました。アルファベット、匆匆はなじみが薄いので入れてほしい。</p>
<p>全体的に普段からこのような用語を日常的に使用する事がほぼありませんので、用語集の一部のみが分かりづらいつらいつらというより、もともと一般人向けには作られていないので、理解できなくても仕方がないと感じました。学生時代に栄養学を勉強し、一応資格を取得しましたが、残念ながらその知識を仕事として活かす事無く、家庭の主婦となってしまった今、数年経ちました。改めて用語集を目に致しました。たくさんの用語を見て、まず私が感じた事は、「これではいけない」でした。10年以上も勉強しないうちに、これほど変わっていたことは予想もつきませんでした。用語について分かりづらいつらいつらというよりも、私自身が理解できなくなっていたと申し上げた方が正しいです。自分の知識、理解力の無さを実感致しました。1年間大変お世話になりました。私にとっては大変難しい内容ででしたが、これからの自分のあり方を考えるよいきっかけとなりました。本当にありがとうございました。</p>
<p>【交差汚染の考え方】・交差汚染という理解に誤りが多かった。 ・形だけで交差汚染と断定しているケースが多く、現場で検証して判定するものであると強く感じる。 ・ハードの面だけを強調するケースが多い。 ・食品安全を確保するという観点からすれば、交差汚染を正しく理解すること、また現状では、すぐ対応可能なノウハウを強化する様、指導してゆく事が必要であると感じた。</p>
<p>むずかしい言葉が多くて、すべてを読むことがむずかしい。わかりやすくまとめてあるとは思う。</p>
<p>今は単純に読み、なるほどと理解している程度です。</p>
<p>難しい用語もあります。やや専門的になっていると思います。</p>
<p>用語集は解説書であるが、匆匆語が多すぎる。例えば3-7「サーベイヤス」、4-6「アジユバント」、5-28「フィートバソ」、5-29「スタコング」、5-30「ピツング」等、食品の開発に係る分野に従事する者として、解りにくい用語である。</p>
<p>私はある程度基礎知識を持っていますが、そうでない方々には理解しがたい部分があると思います。 ・難しくない程度の今のタイプで十分です。・国際・国内機関(P.67~)が多いように思います。でも必要なのではないでしょうか。</p>
<p>匆匆英語を使わないようにできませんか。P.1の「バード」などは日本語の方が通じるのではありませんか。実際に使っている人が多いとは思えない匆匆英語を新しい用語集や啓蒙用のパンフレットからできるだけ省く方向で検討してもらえませんか。リサーチ、トレード・リシステム、アジユバント、インジェクション、ベンチマーク・ズ。これらの言葉を聞いて委員会の方はすぐに説明できるのでしょうか。</p>
<p>用語が解らない時、又、質問を受けた時に利用させて頂いております。言葉が簡潔にまとめられているので、読みやすいです。数冊頂いておりますので、栄養士の仲間にお渡ししています。職業上の栄養に関する事は、少し知識があるので、言葉の説明にも足りぬものもあります。(問5の回答の通り)。全体的には安全性に関する辞典のように読ませていただき、職業上、皆様にお伝えする機会が多いので、大変役立っております。</p>
<p>ある程度専門知識がないと、理解しにくいようです。一般消費者は、理解しづらい用語が多く使われている様に思います。(一部のページについてです。よく耳にする言葉はわかります。)</p>

私は昨年12/2に「リソトアドバザ」の資格を取る為に1年間勉強してきました。その中に特に食品衛生学の部分で、ほとんどの用語ができて、半分位はわかっていないものですが、この用語集を参考にして、とても勉強がはかどり助かりました。分かりやすい表現で記載されとても良いと思います。今後も使用させていただきます。

定期的に改訂されているのが良いと思います。情報は常に変動し、また消費者の関心も常に変化していると思うからです。用語集はニュースや記事など読むときに、分からない時に調べるなどで使っています。知人に説明する為には、かみくだいて話さないとならないと感じています。やはり話題にあがるのは「遺伝子組換え食品」、「鳥インフルエンザ」、「いわゆる健康食品」、「BSE」です。何となくではなく、正確に話すこと・安全には裏付けがあること（リスク評価、管理）を自分が理解してから説明しなくてはならないと思います。

余りにも横文字が多くて、年齢になかなか利用しづらい点がありました。専門用語なのでしょうが、もう少し誰にでも判りやすくしてほしいものです。最近では食品安全センターの意見でなく、いろいろ企業等でも内部告発により、食品回収等が行われている気がします。余りにも物が豊かになり過ぎ、消費者も自分で工夫せず、全て社会に頼ってきている向きに見られます。

よくできていると思いますが、強いて言えば使いこなしたり、また個々の内容を理解するためには、ある程度の知識が必要だと思います。専門外の方、特に一般の方には、説明を読んでも理解できないものがあると思います。

食品に関する課題やポイントは常に生まれているため、webでのわかりやすい公開や随時更新、冊子では1年毎の刷新など、国民に広く認知されるよう積極的な運動を行っていくべきだと思います。

一般の私共には耳慣れない言葉が多く、けっこうむずかしいと思います。

センターとしての立場から、専門用語の中には難しいので理解不可な点は多いが、専門家ではないので仕方ない。現役時代も食品加工上での保健所、食生活推進員、消費生活センター、食品衛生推進員の方との関連はあったが、高度な専門分野については興味が生じないといえる。解説については、各用語が詳しく説明されているので、大変参考になり、センターとしての自分なりの活動の幅を教養として理解出来たと考えています。食の安全はむしろ「食育」という方が今後のテーマではないかと考えます。

日常生活の中で、自分の知見にない場合は、ネットで検索して大局的に把握する習慣をつけているので、用語集のあることすら忘れていた。それぞれの分野で基礎知識がないと、単に各種用語集を読んでも、概念としてとらえにくい場合があるのでは...と思う。

・用語集はセンターに配られる以外に、活用される場（活用する人）があるのでしょうか。・おかげで用語集も解説をみて納得できるものが多いです。きちんとあてはまる日本語もあるのに、（短くうまく言いかえられないものは仕方ないですが）そういった言葉で情報が流されれば、一般の人たちも理解しやすいと思いま

## (7) その他

詳細に知りたい時はインターネット上のウェブサイトで調べているが、簡単に調べたい時は用語集を用いている。これから生活していく上でこの用語集を参考にして自分なりに情報を理解していこうと思います。アンケートの回答を忘れてしまい、日時が遅くなり、大変申し訳ありませんでした。このセンター経験を生かして、身近な事に関心を持っていきたいと思っています。

## 2. その他

### (1) 要望

リスク会場における質疑応答においても、テレビ、新聞の報道・コメントにおいても、この用語集を読んだ上で記事や発言をしてもらいたいと思う。委員会事務局では既に実行しているとは思いますが、是非とも次のことは実施してはいかがでしょうか。リスクや消費者団体、食についてよく発言する人に「用語集」の改訂に協力してもらうべく送付の上、提出願う。リスクには、今後も、この用語集を活用することを明示する。今後のリスク時において、余りに基礎知識を出した方には、司会者なり、専門家によって「用語集」を引用して、適切な発言を求めるようにする。

用語集などは、ある程度知識がある者が読めば理解でき、現状で充分かと思われそうですが...。今後は無関心派、初心者などが理解・関心が持てるような初心者版(イラストを多く)の作成に努めて欲しい。なぜならば、これらの者達は、いい加減な情報に左右されやすく、悪いグループに参入しやすいから...

(2) 様々な意見

この用語集はどの様に配付普及されているのだろうか。エター等一部の人々だけでなく、広く普及し、特に家庭を預かる主婦や女子学生等に普及するようにして欲しい。昔に比べて、食品のぜいたく化と免疫力が極めて低下している現代社会では、「食」に関する知識を抜本的に再編する必要があると思う。その際、当該用語集と食育問題等を含んだ参考書として、台所の片隅に置けるような座右の書として纏め、普及したら良い様と思う。

用語集、いただいたかどうか不明。そのため利用はしなかった。お送りいただいて拝見した感想と致します。わからない用語等は、用語集を参考にすると共にインターネットで情報を得る方法も行われているので、より詳しく得られることが多くなったと思います。法律が変わったり、後から新しいことや問題になった事などを書き換える必要は大いにあると思います。

(3) その他

食品の安全性に関する用語集を拝見し、これをヌターするにはそれなりの知識と勉強の必要性を痛感しました。食品エター依頼者は熟知理解は専門家に依存しても、基本的な販売店での記載事項(生物名、産地名、その他必要事項)記載を検討し、チェックすべきです。記載について正しいか見抜く程度の力は必要です。リスク分析、一般用語、毒性および毒性試験に関する用語等調査し、食品の安全関係のリスクについてチェックできるようにしたい。近年は飼料添加物、抗菌性物質等、生物系分野に関する用語にも十分留して、国民の食品安全を確保したいと考えております。

利用したことがない。

e-マガジンはわかりやすいのですが、もっと専門的なことも知りたく、もの足りない気もします。行ストも見やすく、興味がわきますが、字数を増やしてほしいと思います。

小生は、食品衛生指導員をしております。HACCPは、よく指導員講習会で聞いておりますが、実際に自分の店で実行しなさいといわれた場合、ちょっとむずかしい気が致します。製造業は導入されている企業がふえているようです。最近、BSE問題よりも、身近に関する問題は、ノウイヌではないかと思えます。近くの方も一家がノウイヌにかかり、大変だった事を聞きました。小生は、飲食店を経営しているの、ノウイヌにかからないよう、気をつけています。

【原料原産地表示についての意見】「食料、農業、農業白書」によると、食費段階で最終的に支払われた飲食料費は、総額80兆3千億円(2000年)で加工品、外食、生鮮品の割合は5:3:2とある。2割を占める生鮮品は一部未実施がみられるものの、大半は概ね表示が進んでおり、関係者の努力を高く評価したい。しかし半数(金額的に)を占める加工品の表示は昨年10月より一部の品目が追加され、表示が義務付けられたことは喜ばしい事であるが、それが全体の何%に相当するものか判然としない。豆腐や納豆は遺伝子組換えの表示は義務付けられているが、原産地表示は中小企業が多いので、義務化は業者の負担が大きいかで(別の新聞報道による)回避されたとか聞くが、食の安全であれば、特に毎日使用する品目であれば、これは一寸おかしいのではないか。業者の保護は通産省だと思っていたが、農水省も似た考えをもっているのだろうか。食の安全はかけ声で終わってはならない。更に3割を占める外食については、ガイドラインを極力守って頂くというのが現状であるが、今迄の先例の通り業者のEPLに基だ問題があるのが事実である。更なる強力な行政指導をはかって戴きたいと要望する。(最近以前より外食しない傾向になった。)

私はあまりインターネットをやらないので、メルマガジンと言われても意味がわからないので、初心者でもわかるものを提供して欲しいです。私が食品安全エターをやっている気がついたことは、メルマガジンにしても、ブログにしてもインターネット関係の言葉がよく出てきて、わかりにくいので、もう少し、注釈を入れて、わかりやすくして欲しいです。

内容はこの程度で良い。使い勝手が悪い。ワクワックで用語を調べられるようにしてほしい。

ポジティブリスト制度について、農薬の使用基準は、地域別使用基準...全ての地区で使用。個人別使用基準...違いによるトラブル。自然の空間の中での基準。

- 1)区切られたハウス等の使用は他地域の迷惑はかからないと思う。
- 2)他からの影響による残留濃度の変化に対する対応策はあるのか。
- 3)農産物集荷工場での基準による選別は可能なのだろうか。

食生活改善推進員1年目、そして食品安全エターになって1年目、今やと何となく全体が見えてきて、これからどうしたら良いか、少しずつ判りかけてきた所だと思います。食品安全エターになってえた情報を多くの仲間や他の人々に伝え、ともに勉強して行く事ができたらいいのではと今、思っております。熊本では「くらしに役立つ食の安全安心Q&A」というものがあり、小さい子供から大人までクイック型式で学ぶ事ができます。これを大いに利用して、皆で学んで行きたいと思っています。国民一人一人が自分達で学び、安全安心に関心をもって、住みよい国作りができたら、私たちも幸せですね。普通の主婦ですが、少しでも役にたてたら幸せです。今年は食生活改善推進員の仲間達と、頑張りたいですね。

用語集の北-をお客様(自然食品店経営)に提供したいと考えています。不可であれば啓蒙する上で解りやすいパンフ等を作成したいのですが。(各府ごとに)

食育の重要性は理解できるが、貴委員会の職務範囲だろうか? (科学的に検証するのは、安全委員会の職務で、それぞれ専門の方々が入選されている)

問9 問8で「現在摂取している」、「過去に摂取したことがある」と答えた方に伺います。摂取したことのあつるいわゆる健康食品の摂取種類、摂取頻度、摂取機関について、次の中からそれぞれ一つずつ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。また摂取したことのあつるいわゆる健康食品は具体的にはどのようなものですか。次の中から選び、回答欄に該当する番号を記入してください。(複数回答可)

【摂取頻度「その他」自由記述】

記入内容	件数	記入内容	件数	記入内容	件数
2年以上で不明	2	5年程(連続ではありません)	9	10年位	3
2年3ヶ月		5年程		10年位	
3年目	5年位	10年			
3年以上	4	5年位		10年以上	3
3年		5年間位		13年	
3年		5年間		20歳ごろから	
3-4年	8	5年以上(?)			
3~4年		5年			
4年程		5年			
4年位		6年前から	1		
4年間		7年間	2		
4年		7年間			
4年		8年	1		
4以上5年未満位					

【摂取しているもの「その他」自由記述】

回答	件数	回答	件数	回答	件数
ビタミン類		その他		EPA剤	1
ビタミンC	7	コラーゲン	8	PS	1
マルチビタミン	7	ロ-ヤルゼ-リー	7	V.C入り飴等	1
ビタミン	5	グルコサミン	5	油	1
ビタミンB	4	マカ	5	アホエ	1
ビタミンE	4	ルテイン	4	アミノコラーゲン	1
葉酸	3	L-カルニチン	3	アミノ酸粉末	1
ビタミンB1	1	イチョウ葉エキス	3	アントシアニン	1
ビタミンBB	1	ニンニク卵黄	3	うらじろがし	1
ビタミン剤	1	DHA	2	ウコン	1
ミネラル類		-リボ酸	2	梅酢	1
カルシウム	9	アミノ酸	2	栄養ドリンク	1
鉄	7	アルファリボ酸	2	エリサのABC	1
ミネラル	3	カキエキス	2	核酸	1
亜鉛	1	コントロイソ	2	カキ	1
ヘム鉄	1	サメの肝油	2	顆粒ビタミンC	1
マグネシウム	1	セザミン	2	ガルシニア	1
マルチミネラル	1	にがり	2	寒天	1
ブルーベリー関係		ノキリヤシ	2	肝油(サメ)	1
ブルーベリー	7	ビール酵母	2	魚油	1
ブルーベリーエキス	4	プロテイン	2	グァバ茶	1
ブルーベリー加工食品	1	プロポリス	2	クエン酸	1
ブルーベリーソフトカ-ゼ-ル	1	もろみ酢	2	黒酢ニンニク	1

回答	件数	回答	件数	回答	件数
ケイアカ <sup>®</sup> セル	1	ダ <sup>®</sup> イット食品	1	フォースリン	1
健康増進食品	1	大豆ソバ <sup>®</sup> ク質	1	プ <sup>®</sup> ラセンタ	1
健康茶	1	チャカ <sup>®</sup>	1	プ <sup>®</sup> ルン	1
玄米胚芽	1	甜茶	1	プ <sup>®</sup> ロハ <sup>®</sup> イテクス乳酸菌	1
高濃度カキ <sup>®</sup>	1	朝鮮人参粉	1	マキシムリリユーションズ <sup>®</sup>	1
酵素	1	田七	1	マヨネーズ	1
五穀米	1	豆乳クッキー	1	万田酵素	1
ごま	1	特定菌入ヨーグルト	1	みつばち花粉食品	1
ザ <sup>®</sup> クジューズ	1	杜仲茶	1	麦緑茶	1
雑穀	1	ナチュラル <sup>®</sup> パ <sup>®</sup> ルテイン	1	刈ロート	1
シー <sup>®</sup> アイバー	1	乳製品飲料	1	野菜ジューズ	1
ソ油	1	にんにくカ <sup>®</sup> セル	1	野菜ダ <sup>®</sup> ブレット	1
ソ <sup>®</sup> ン芋	1	ノキ <sup>®</sup> リヤシ	1	ヨーグルト	1
十六穀米	1	ハイ <sup>®</sup> オ <sup>®</sup> ラン(米ぬか、アラ <sup>®</sup> ビ <sup>®</sup> ノシシ)	1	葉酸	1
食物フィロ <sup>®</sup>	1	梅肉エキス	1	ラク <sup>®</sup> トフェリン	1
食物繊維	1	ハー <sup>®</sup> メント <sup>®</sup> 酢	1	卵黄レシチン	1
食物繊維入り飲料	1	ハラ	1	リ <sup>®</sup> コ <sup>®</sup> ソ <sup>®</sup>	1
スピ <sup>®</sup> ア	1	ビ <sup>®</sup> ク <sup>®</sup> ジ <sup>®</sup> ェール	1	霊芝	1
セン <sup>®</sup> 茶	1	ヒ <sup>®</sup> アル <sup>®</sup> ン酸	1	甜茶エキス	1
総合ビ <sup>®</sup> タミン剤	1	ビ <sup>®</sup> ワ <sup>®</sup> の種	1	fe、葉酸を多く含む	1
ダ <sup>®</sup> イット系のもの。	1	アイ <sup>®</sup> バー	1	ジューズ	

問 10 問 8 で「 現在摂取している」、「 過去に摂取したことがある」と答えた方に伺います。いわゆる健康食品を摂取した理由について、次の中から二つを選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

【「その他」自由記述】

腰にきくといわれて。
骨折したため。
効果の検証
自覚できる効果が何かあるのが興味があった。
食品機能を試してみたいという動機から。
買うまではないが、興味がある物をサンプルでもらった。
たまたまもらったか、買って来た為。
まわりの友人に勧められて(興味半分で)。
知人に薦められ頂いた。味が良かった。

問 11 問 8 で 「摂取したことはない」と答えた方に伺います。いわゆる健康食品を摂取しない理由について、次の中から一つ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

【「その他」自由記述】

(健康の保持・増進のため)が中心であるが、選択肢 ~ (健康の保持・増進のため、体調の改善のため、不足している栄養分を補給するため、美容・ダイエットのため)全体を考えて摂取しない。
栄養学を学んだ経験から、健康はバランスのとれた食事と適度な健康で保たれる物と考えている。故に、 <u>          </u> 、 <u>          </u> 、 <u>          </u> 全てに当てはまる。
栄養は、健康な人は自然の食品から摂ることをモットーにしている。
健康食品そのものの存在理由がわからないため。
健康食品も薬のような気がして飲む気がしない。信じていない。
イン丹製品がほとんどだから信用していない。
宣伝が押し付けがましい。まやかしを感じるから。
値が高いため。

問 12 いわゆる健康食品についての情報をどちらから入手していますか。次の中から選び、回答欄に該当する番号を記入してください。(複数回答可)。

【「その他」自由記述】

製造会社から。
製造会社から直接。
メーカーからの直接、情報提供。
原料元のメーカー
ダイレクトサプplメール
折り込みチラシ
ポストの中のチラシ
展示会(食品業界による)
薬局で。
店頭にて
ドラッグストア(チェーン店)の店員の口コミ
ドラッグストア勤務で、客に説明の為、勉強。
よく訪問販売や電話がある。
開業医の2階で家族経営している健康食品店
信用のおける薬局
商品に書いてある能書きを見て
親戚にすすめられて、説明会に参加した。
職場で勧められた。
20年来の信用できる人の世話
娘が薬剤師なので。
専門雑誌
学術論文
論文(学術論文)
業務の中で。
健康(C型肝炎)に関する研究会より
ブログの情報
地域のPTA講演会などからも入手
ツアー旅行(国内外とも)にて、健康食品の店へ連れて行かれた。格安ツアーだからか。
すすめられるまま摂取しているが、どうか?

問 14 いわゆる健康食品を仮に将来において摂取するとした場合、それはどのような理由からになると思いますか。次の中から一つ選び、回答欄に該当する番号を記入してください。

【「その他」自由記述】

20年来の友人の薦め。疲れは実際に取れる気がする。
あまり信用していない。
安全性に不安。効果も期待できそうにない。
医薬品では得られない安心感を求めたいとき。
健康食品に対して、納得のいくデータがあった場合摂取する場合があります。
死ぬ寸前、何も口にできなくなったら、これしかないと思い、食べるかもしれない。
社会人になって独立した子供がADP-がひどく、なんとか薬ばかりにたよらず”かゆみ”をとめるために何が良いか、役に立つものをさがしている。
治療法のない病気になった時。
何らかの原因で普通の食事ができなくなり、唯一、そういったものから栄養を摂ることができると、生命維持の場合に限り、摂取するかも知れません。
病気をしたり健康診断などで、体調に不安を感じた場合。
病気をして食べられなくなったら、高加リ-高栄養の物をとると思う。
老化により食物摂取が困難になったら、健康食品に頼らざるを得ないかもしれない。
絶対に摂取しない。
不足が判明（客観的事実に基づいて、血液検査他において）した場合、医薬としての製品を用いる。
ブルーベリー、ルテインが一般医薬品に比較的少ないので通販で購入。
私はないと思うが、一般的な人々はTV、口コミでただなんとなく摂取するケースが多いと思う。
医薬品と違い内容が安定していない。
健康食品の健康被害についてもっと一般の人に具体的に周知して下さい。
健康食品の相談をうけることがあるので、自分自身で試してみようとする時があるため。自分の健康のために摂ろうという気は毛頭無し。